

# 岩手県食育取組事例集



いわての食育シンボルマーク

「毎月19日は食育の日」

いきいき！健やか！岩手の食っ子！  
イーハトーブの恵みを受けて



©わんこきょうだい

岩手県

## 事例集の作成にあたり

- \* 岩手県では、平成18年2月に平成18年度から平成22年度を計画期間とした「岩手県食育推進計画」を策定し、岩手県食育推進ネットワーク会議を組織し、本県の食育推進に総合的かつ計画的に取り組んできました。
- \* 平成23年1月には、メタボリックシンドロームの増加や食の安全安心を揺るがす様々な事件の発生などによる食の安全性に対する不安の高まりなどの新たな課題に対応するため、計画を見直し、平成27年度を目標年次とする新たな「岩手県食育推進計画」を策定したところです。
- \* 新しい計画に基づき、これまで、食育を実践してもらうための総合的な普及啓発と、食育を推進するための地域の体制整備のため、様々な事業に取り組んできたところですが、今般、市町村や関係団体の御協力を得て、各団体の食育の取組みをまとめた食育取組事例集を作成しました。
- \* この事例集が、他の事例を参考とした新たな食育の取組みや市町村と関係団体が連携した食育の取組みの促進に寄与することを期待するものです。

### 《事例集の活用例》

- 参考としたい取組事例の詳細についての照会(各団体に問合せ)
- 参考としたい取組事例の視察や参考体験(各団体に連絡依頼)
- 食育の勉強会や研修会での活用(取組事例の紹介、講師招へい等)

# 岩手県食育推進計画

## \* 基本目標

全ての県民が生涯にわたり、健全な食生活を営み、心身ともに健康でいきいき暮らしていくこと

## \* 基本理念

岩手の風土や文化などの特性を生かしながら、食に関わる人々への感謝と思いやりの念を深めつつ、食べることの大切さを理解し、安全安心な食べものを選択する力や望ましい食習慣を育てます。

## \* 計画の施策体系

### 1 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

#### ① 乳幼児等の健全な食習慣の形成

妊産婦や乳幼児の食事指導への支援、子育て相談の実施、むし歯予防の支援等

#### ② 小学生、中学生、高校生の健全な食習慣の形成

肥満予防のための取組支援、食に関する指導の充実等

#### ③ 生涯にわたる健全な食習慣の形成

食生活改善ツール等の活用及び普及、健康づくりボランティア等の育成、支援等

### 2 食の安全安心を支える食育の推進

#### ① 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進

食の安全安心に関するリスクコミュニケーションの実施等

#### ② 食品情報の提供と食品表示の適正化の推進

食品に関するトレーサビリティ制度の普及、食品表示に関する店舗への指導等

### 3 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

#### ① 農林漁業体験などを通じた生産への理解の増進

学校等における農林漁業体験学習の支援、県産食材供給のための組織づくり支援等

#### ② 食文化や食生活の伝承

食の匠の活動支援、学校給食への郷土料理の活用等

### 4 地域に根ざした食育の推進

#### ① 食育推進運動の展開

食育月間等における食育の普及、食育の手引きの作成、普及等

#### ② 市町村や地域における食育の推進

市町村等における食育推進の支援

## 目次

### ◆ 望ましい食習慣に関する取り組み

- \* 1 MORIOKA 「食」教室 (盛岡市健康推進課) …… 6
- \* 2 保育所給食を通じた県産食材のアピール (盛岡市立保育所) …… 7
- \* 3 食育推進事業「野菜の計量体験！」～一日に野菜を350g食べましょう～  
(北上市健康増進課、北上市食生活改善推進員協議会) …… 8
- \* 4 高校生健康生活定着事業 (遠野市総合食育推進課) …… 9
- \* 5 自分で作って食べよう“おにぎりデー” (岩滝保育園・遠野市) …… 10
- \* 6 食生活と健康講座 (岩手県立遠野緑峰高等学校) …… 11
- \* 7 開けてにっこり手作り弁当 (一関市立川崎中学校) …… 12
- \* 8 集まれ！！小さなシェフ (釜石市健康推進課) …… 13
- \* 9 毎月19日食育キャンペーンの取り組み (二戸市健康推進課) …… 14
- \* 10 親子Myランチづくり (NPO法人ゆう・もあ・ねっと) …… 15
- \* 11 親子クッキング (西和賀町保健福祉課) …… 17
- \* 12 おいてみマットの作成及び普及 (金ケ崎町保健福祉センター) …… 18
- \* 13 ヘルシーレストラン開催事業 (洋野町食生活改善推進員協議会) …… 19
- \* 14 親子で学ぶ食育講座～簡単料理のお手伝い～ (公益社団法人岩手県栄養士会) …… 21
- \* 15 歯育・食育推進事業 (一般社団法人岩手県歯科医師会) …… 22
- \* 16 ルンルン・ワイワイ めくもりの集い～地区栄養料理教室～  
(九戸村食生活改善推進員協議会) …… 24
- \* 17 バランスの良い弁当を作ろう～見直そう和食の良さを～  
(盛岡市食生活推進団体連絡協議会) …… 25
- \* 18 男の料理教室 (小川メンズクラブ) …… 26
- \* 19 たんぽぽ学級～子育ておたすけ講座～「食」で育む親子の学び  
(山田町教育委員会生涯学習課) …… 27
- \* 20 外食栄養成分表示登録店等推進事業 (岩手県健康国保課) …… 29

## ◆農林漁業体験・食文化や食生活の継承に関する取り組み

- \* 21 山菜取りと料理を楽しむ親子ふれあい講座  
(公益財団法人盛岡市文化振興事業団・盛岡市河南公民館) …… 31
- \* 22 秋の自然散策とキノコを楽しむ親子ふれあい講座  
(公益財団法人盛岡市文化振興事業団・盛岡市河南公民館) …… 32
- \* 23 市場まつり  
(盛岡市中央卸売市場) …… 33
- \* 24 学校給食への地場産品活用への取り組み  
(学校給食地場産品活用推進協議会・盛岡市) … 34
- \* 25 郷土料理・菓子「かまもち」作り  
(大船渡市立吉浜中学校) …… 35
- \* 26 カレークッキング&パーティ  
(蛸ノ浦保育園・大船渡市) …… 36
- \* 27 クッキング  
(猪川保育園・大船渡市) …… 37
- \* 28 大迫中学校食育講座「食文化や地域の伝統を伝えよう  
～花巻の食材を生かした小昼(こびる)づくりと地産地消～」  
(花巻市健康づくり課) …… 38
- \* 29 学校農園作業・米作り  
(遠野市立遠野北小学校) …… 39
- \* 30 郷土食料理教室  
(二戸市健康推進課) …… 41
- \* 31 学校給食食材生産供給組合の学校給食センター連携による食育推進の取り組み  
(滝沢市学校給食食材生産供給組合) … 42
- \* 32 手作りおやつ作り体験教室  
(雫石町食生活改善推進員連絡協議会)  
…………… 43
- \* 33 “絵本の中のクッキング” ～南部小麦粉を使ってパン&お菓子&パスタ～  
(手づくり工房きくぱん) …… 45
- \* 34 ブラックベリー収穫体験  
(矢巾町農業対策会議生活部会) …… 47
- \* 35 学校給食における郷土料理の提供  
(西和賀町教育委員会学務課) …… 48
- \* 36 ヘルスアップ教室「郷土料理を伝えていこう」  
(平泉町学校保健会) …… 49
- \* 37 いわて短角和牛学校給食の日  
(岩泉町農林水産課) …… 50
- \* 38 郷土食講習会  
(食生活改善グループいわいずみ会) … 51
- \* 39 雑穀を使った親子料理教室  
(軽米町立晴山中学校2学年) …… 52
- \* 40 学校給食への地場農産物の提供  
(九戸村農業者学校給食応援隊) …… 53
- \* 41 食育の日こんだて ～日本、汁めぐり～  
(九戸村学校給食センター) …… 54
- \* 42 社員食堂で地産地消  
(岩手朝日テレビ) …… 55
- \* 43 酪農出前教室  
(岩手県牛乳普及協会) …… 56
- \* 44 ちゃぐりんスクール  
(JAいわて花巻) …… 58

* 45	子育て支援「わいわい子育てフリースペース」 (JAいわて花巻) ……………	60
* 46	JAいわて中央「農作業体験&味覚ツアー」(JAいわて中央) ……………	62
* 47	農業・福祉まつり (西和賀町学校食育連携協議会) ……………	65
* 48	～とどけよう 地域の思い 給食にのせて～ (八幡平市立西根地区学校給食センター) ……	66
* 49	学校給食のよりよい地場産品活用について (盛岡市学校栄養士会) ……………	68
* 50	「岩手とり肉の日」食育交流及び学校給食事業 (岩手県チキン協同組合) ……………	70
* 51	餅つき&はっと作り体験in骨寺村荘園遺跡 (ときめき世界遺産塾実行委員会) ……	72
* 52	家族一緒にちゃんこの日 (教育振興運動二戸市浄法寺小学校実践区) ……	74
* 53	放課後子ども教室「わいわい遊びの学校」葛巻の郷土食を知る「へっちょこだんごを作ろう！」 (葛巻町教育委員会生涯学習推進室) ……	76
* 54	八重畑りんご丸かじり事業 (花巻市石鳥谷総合支所八重畑振興センター) ……	78
* 55	矢沢保育園おいしい笑顔 (社会福祉法人矢沢保育園・花巻市) ……	80

## ◆ 食の安全安心に関する取り組み

* 56	いわて食肉フォーラム～知って安心おいしく食べよう岩手のお肉～ (岩手県食肉衛生検査所、一般社団法人岩手県獣医師会食鳥検査センター) ……	81
* 57	食の安全安心リスクコミュニケーション (岩手県県民くらしの安全課) ……………	83

## ◆ 食育推進運動の展開に関する取り組み

* 58	奥州市食育活動支援登録事業 (奥州市健康増進課) ……………	84
* 59	JAいわて花巻食育リーダー「花巻まんま～ず」 (JAいわて花巻) ……………	86
* 60	食育普及啓発キャラバン (岩手県食育推進ネットワーク会議、岩手県県民くらしの安全課) ……	88
* 61	岩手県食育推進県民大会 (岩手県食育推進ネットワーク会議、岩手県県民くらしの安全課) ……	89
* 62	岩手県食育推進貢献者表彰(知事表彰) (岩手県県民くらしの安全課) ……………	90
* 63	岩手県食育標語コンクール (岩手県食育推進ネットワーク会議、岩手県県民くらしの安全課) ……	91

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

「食育」の必要性がいわれている中、日々家庭の食事づくりを担う女性を対象に講習会を開催し、健康、運動、食事について正しい知識の普及に努め、家庭の健康づくりに資するものである。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：概ね20～30代女性

場 所：盛岡市保健所、都南公民館

内 容：保健師による女性のがん検診についての講話

管理栄養士による食育と健康的な食事についての講話

食生活改善推進員による郷土料理の調理実習と試食

朝食簡単メニューの試食

エアロビでリフレッシュ(2日間コースのみ)

実施時期：8月、3月(1日コース)

10月(2日間コース)

実施回数：1日コース年2回

2日間コース年1回



## ○ 関係団体との連携

盛岡市食生活改善推進員(調理実習)、シルバー人材センター(託児)

## ○ 活動の成果・効果

参加者は、食育の大切さや郷土料理の美味しさ、だしや薄味の大切さに気づくことができた。託児つきなので、小さい子のいる親も参加しやすかった。(アンケート結果より)

## ○ 今後の課題・展望

たくさんの参加者を集めることが今後の課題である。20～30代の若い世代に広く周知できるよう、周知方法を検討、工夫していきたい。

## 団体の紹介

盛岡市健康推進課

## 連絡先

〒020-0884 盛岡市神明町3-29  
TEL：019-603-8305

### 【取組内容】

#### ○ 活動の概要

乳幼児期より四季折々の県産食材に親しむとともに、保護者にもアピールすることを目的とする。

#### ○ 具体的な取組の様子

対 象：各保育所に入所している乳幼児とその保護者

場 所：盛岡市立保育所

内 容：年間を通して各月毎にアピールする旬の県産食材を決め、各保育園で給食献立を作成、実施、展示する。また、保護者にレシピを配布する。特に「もりおか食育月間」である6月と10月には、その食材を取り入れたメニューを食育の日の19日に実施する。

実施時期：6月、10月

実施回数：年2回

<6月 春キャベツのパスタ>

<10月 里いも味噌グラタン>



#### ○ 活動の成果・効果

保育所給食を通して、県産食材の味わい、魅力をPRする。地元食材への関心も高まってきている。

#### ○ 今後の課題・展望

今後とも継続して県産食材のPRに努める。

#### 団体の紹介

盛岡市立保育所

#### 連絡先

盛岡市児童福祉課  
〒020-8530 盛岡市内丸12-2  
TEL：019-626-7511



### 【取組内容】

#### ○ 活動の概要

食育推進を図ることを目的として、食生活改善推進員や保健所、栄養士会、学校給食納入振興会と協働で実施しています。

#### ○ 具体的な取組の様子

対 象：おもに市民



場 所：江釣子ショッピングセンター パル

内 容：一日分の野菜の計量体験や、食育クイズ、ゲームなどを実施しています。計量体験を行った方には、野菜のプレゼントもあります。(食生活改善推進員協議会、給食納入振興会より提供)  
保健所ブースでは手洗いを励行するために、ブラックライトを用いて、実際に手洗いを行い、視覚からも働きかけました。  
栄養士会では食育紙芝居の読み聞かせや、媒体も活用してカルシウムや鉄の摂取を促す指導を行いました。

実施時期：毎年秋(土日祝のいずれか)

実施回数：年1回

#### ○ 関係団体との連携

岩手県中部保健所、岩手県栄養士会県央支部、北上給食納入振興会

#### ○ 活動の成果・効果

子どもから大人まで幅広い世代が体験できる催しとして、家族で参加するかたも多く、家庭の中で食育について考える機会となっています。

#### ○ 今後の課題・展望

家庭での食育につなげられるよう、回数を重ね周知を行っていきます。

### 団体の紹介

北上市食生活改善推進員協議会は会員372名(平成25年現在)、私達の健康は私達の手でをスローガンに、地域の食育、家庭での食育のより一層の推進を目標に活動しています。

### 連絡先

〒024-8501 北上市芳町1-1 北上市保健福祉部健康増進課内  
TEL：0197-72-8295

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

市内2つの高校に通う生徒を対象に、健康づくり講演会や食事づくり体験を通じた学習会を実施している。

隔年交代で1校ずつの「健康づくり講演会」と、貧血予防健診有所見の生徒を対象とした食生活改善講習会「フレッシュサークル」を両校で実施。

## ○ 具体的な取組の様子

## ◆健康づくり講演会

対 象：岩手県立遠野高等学校全校生徒 450名

場 所：岩手県立遠野高等学校 第一体育館

内 容：講演『明日をつくる食事力』 管理栄養士 臼井名津子氏

実施時期：平成25年11月6日

実施回数：年1回(2校で隔年交代)

## ◆食生活改善講習会

対 象：貧血予防健診有所見者 40名(遠野高校32名、遠野緑峰高校18名)

場 所：各校家庭科室

内 容：講話『気をつけましょう貧血』

グループワーク『選ぶ力を身につけよう』

調理実習『貧血克服！バランス献立～麻婆豆腐ほか』

実施時期：遠野緑峰高等学校⇒平成25年9月24日

遠野高等学校⇒平成25年12月17日

実施回数：年1回

## ○ 関係団体との連携

遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会・遠野高等学校・遠野緑峰高等学校

## ○ 活動の成果・効果

食に対する興味を持つ生徒が増える。自らの食生活を管理できる能力が身に着く。

## ○ 今後の課題・展望

・「食事バランスガイド」を活用できる生徒を増やす。

・郷土食を教材にしたバランス献立で、貧血克服実践につなげる。

## 団体の紹介

遠野市総合食育センター総合食育推進課

## 連絡先

〒028-0541 遠野市松崎町白岩31-44-1  
電話：0198-62-2032 FAX：0198-62-6523  
e-mail：miwako@city.tono.iwate.jp

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

食べる意欲の向上をねらいとし、週に一度『ラップおにぎり』を行っています。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：3、4、5歳児(20名)

場 所：食堂又は保育室

内 容：家庭から持参するご飯を自分でラップおにぎりにする。

週に一度の月曜日(クラス便りで家庭に周知し、この日だけは特別に、ふりかけや昆布等を持参して良いこととしている)

実施時期：10月後半から

実施回数：7回(12/31現在)

## ○ 活動の成果・効果

お弁当に入ったご飯のままよりも、ラップおにぎりにした方が、食べるペースがはやまります。

家庭において、おにぎりデーが話題になることで、我が子の食について保護者への意識付けになっていると思います。

## ○ 今後の課題・展望

まだ、取り組み始めたばかりなので、今後続けていく中で、子供たちの気持ちになんらかの変化があるか見て対応していきたいと思っています。

(マナーにならないように)

団体の紹介

岩滝保育園

連絡先

〒028-0481 遠野市小友町16-105-3  
TEL：0198-68-2333

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

食生活が心身の健康に与える影響が大きいことを理解するとともに、正しい知識を習得し、実践力の育成につなげる。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：①男子生徒

②女子生徒

場 所：①体育館

②音楽室

内 容：①「男子力がアップする運動と食べ物」

講話→「家でできる筋トレ」演習

②「女子力がアップする食生活」

講話→「自らの食生活を振り返る」演習

実施時期：平成25年8月28日(水) 14：15～15：30 (LHR)

実施回数：1回

## ○ 関係団体との連携

①の講師 健康運動指導士 遠山 明美 氏

②の講師 遠野市総合食育センター 総合食育推進課 北湯口 美和子 氏

## ○ 活動の成果・効果

講話だけでなく、演習を取り入れたことで、自らの健康を見直す良い機会になった。

## ○ 今後の課題・展望

今後も生徒の実態に合った健康教育に取り組んでいきたい。

団体の紹介

岩手県立遠野緑峰高等学校

連絡先

〒028-0541 遠野市松崎町白岩21-14-1  
TEL：0198-62-2827 FAX：0198-62-2828

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

平成20年度から学校保健委員会が主催となり、手作り弁当に取り組んでいる。  
弁当作りのテーマは毎年話し合いで決めている。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：一関市立川崎中学校 全学年 94名

場 所：弁当作成は各家庭

内 容：テーマに沿って生徒が弁当作りに励む。今年度のテーマは「彩りの良い副菜をつくる。」であった。保健委員の生徒が全員の弁当の写真を撮り文化祭に展示する。

実施時期：一学年 8月27日 二学年9月2日 三学年8月28日

実施回数：各学年とも年一回



## ○ 関係団体との連携

真滝給食センター 栄養教諭

## ○ 活動の成果・効果

- ・生徒の食に対する興味関心の向上。
- ・調理技術の向上。
- ・家族内の会話や心の交流の増加。

## ○ 今後の課題・展望

課題 回数を増やすことを目指す。

展望 食に対する知識・技術が向上し、食文化が一層豊かになること。

## 団体の紹介

生徒数は少ないが、誠実でまじめである。生徒指導上の問題行動はあまりなく、学習意欲も高い。健康面で欠席者は少ない方である。よい歯の学校表彰を受けている。部活動・各種のボランティアにも意欲的である。

## 連絡先

〒029-0202 一関市川崎町薄衣字上段1  
TEL：0191-43-3115

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

食育推進計画策定時より肥満の割合、甘い食べ物等の摂取回数が増えていることをふまえ、正しい食生活の実践につなげる。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：市内小学生(3～6年生)

場 所：青葉ビルまたは働く婦人の家

内 容：①保護者に対する食育指導講話

②親子での調理実習

③自分の適量が分かるバランス弁当を配付・説明

実施時期：夏休み(7～8月)、冬休み(12～1月)

実施回数：5回

## ○ 関係団体との連携

食生活改善推進員に調理の指導に入ってもらおう。

## ○ 活動の成果・効果

参加した子どもたちは、1日のおやつは200kcalまでと覚えることができた。

市販のおやつのカロリーの見方も、実際に確認することができた。

## ○ 今後の課題・展望

今後、自分で正しくおやつを選択し、肥満や甘い食べ物等の摂取回数が減ることを望む。

団体の紹介

釜石市保健福祉部健康推進課

連絡先

〒026-0025 釜石市大渡町3-15-26  
TEL：0193-22-0179

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

食育への関心を高め肥満予防や生活習慣病予防等を推進するため、栄養相談を設けている。

また、二戸の特産品である雑穀を使ったおやつを試食を行い雑穀の普及に努める。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：一般市民

場 所：ショッピングセンター ニコア

内 容：栄養相談、雑穀おやつの試食

実施時期：毎月19日

実施回数：年12回



## ○ 関係団体との連携

二戸市食生活改善推進員協議会



## ○ 活動の成果・効果

少しずつであるが栄養相談者が増えてきた。毎月の雑穀おやつを楽しみにして訪れる人もいる。

## ○ 今後の課題・展望

もっと若い世代にも興味がわくようなコーナーを設けたり、世代間交流が出来るようにしていきたい。

## 団体の紹介

二戸市総合福祉センター健康推進課

## 連絡先

〒028-6198 二戸市福岡字八幡下11-1  
TEL：0195-23-1313 内線245

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

子どもたちが安心・安全な食品の選び方が身につき、健康な生活に関心を持つようになることを目的に、小学生親子・地域の方・小学校の先生が、学校を会場にランチづくりをして交流します。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：小学生親子

場 所：小学校の家庭科室

内 容：小学校の長期休みに、小学生親子と地域の方、生産者、小学校の先生と一緒に、小学校の家庭科室を会場に「Myランチづくり」で交流します。

実施時期：小学校の長期休み(夏休み&冬休み)

実施回数：平成25年度は夏休み→3回(古館小学校、星山小学校、赤沢小学校)  
冬休み→1回(古館小学校)



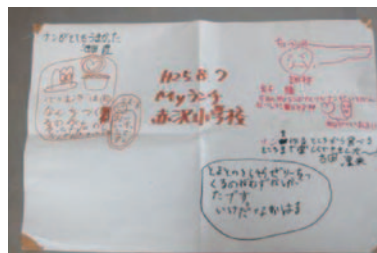
## ○ 関係団体との連携

紫波町教育委員会の協力で参加募集のチラシを配布・回収、学校と施設の借用には農林課に同行いただきました。

当日は、校長先生はじめ担任の先生に参加いただき、子ども会行事との連携もありました。また、栄養職員の方が地元食材についての講話を引き受けてくれました。

## ○ 活動の成果・効果

- ・「作り方がわかってよかったあ」「家でも作りたいです」などの感想から、子どもたちが地元農産物など食について関心を持つようになりました。
- ・調理・試食と講話がセットなので、子どもたちには具体的で理解が高まりました。
- ・学校との連携で、子どもに関わる地域活動を先生方に理解いただくきっかけになり、モデル的の事業になりました。





○ 今後の課題・展望

子どもたち自身が学年や年齢に応じて、食に関して理解や関心を向上できるように工夫していきたいと考えています。

団体の紹介	地元中学校のゆうごうセミナーと地域子ども教室の運営がきっかけとなり平成13年に活動を開始、更に思いに賛同する方が加わり平成23年4月14日に特定非営利活動法人ゆう・もあ・ねつとを設立。 学校・家庭・地域との融合のコーディネートと活動するあなたをサポート市民活動支援センター《ゆいっとサロン》を委託運営。
連絡先	代表 佐藤富美子 携帯：080-3326-6390 e-mail：kyami2975@yahoo.co.jp

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

幼児とその保護者を対象にし、食の大切さや食事の楽しさを学び、健全な食生活が幼少期から確立できるよう支援するために実施する。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：保育所年長児親子

場 所：各保育所

内 容：朝食の大切さや食事のバランスのとり方等の講話をする。そして保育所で育てた野菜を活用し、親子で食材を切ったり、調理をし、自分達が作った料理を試食する。

実施時期：保育所の都合のよい時期

実施回数：各保育所



## ○ 関係団体との連携

食生活改善推進員に協力いただく場合もある。  
栄養教諭に講話を依頼する時もある。

## ○ 活動の成果・効果

自分達が育てた野菜を使い、調理をして食べるので食への興味がわく。親子で話を聞いたり作業をすることによって食の楽しさを感じる。

## ○ 今後の課題・展望

親子クッキングの時だけではなく、各家庭でも一緒に食事作りをして、コミュニケーションをとり家庭での食育に繋がってもらいたいので、機会をとらえその事を伝えていく。

## 団体の紹介

西和賀町保健福祉課

## 連絡先

〒029-5692 西和賀町沢内字太田2-81-1  
TEL：0197-85-3411 FAX：0197-85-2119

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

金ケ崎町食育推進計画は、2期目に入り「生活習慣病の予防」が柱の一つとなっている。バランスのとれた食生活実践のためのツールとして、卓上マットを作成し、普及を行っており、わかりやすいと好評である。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：全町民(重点 幼児から中学生…H24全幼稚園、保育園、小中学生に配布)

場 所：各家庭、講習会、イベント等

内 容：家庭や健康に関する講習会等で「おいてみマット」の上に実際に料理を並べ、バランスのとれた食事について食べながら考えるツールとしている。

実施時期：通年



おいてみマット



家庭での活用の様子



ぬり絵版活用の様子

## ○ 活動の成果・効果

(使った感想)

- ・食事を準備するときに、バランスを意識するようになった。
- ・子どもがみそ汁を食べるようになった。
- ・子どもが食べ物に興味を示すようになった。
- ・皿の置き方が覚えられてよい。

## ○ 今後の課題・展望

毎食、主食、主菜、副菜の揃った食事を実践している人は40% (H24年度) 引き続きバランスのとれた食事実践のため、情報発信を行っていきたい。新たに「ぬりえ版」を作成し、家庭での活用を促す取組みを開始している。

団体の紹介

金ケ崎町保健福祉センター

連絡先

〒029-4503 金ケ崎町西根樋水98  
TEL: 0197-44-4560

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

洋野町食生活改善推進員協議会では、生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防、改善等を目的とした健全な食習慣の普及啓発のため、平成20年度から「ヘルシーレストラン」の開催に取り組んでいる。「ヘルシーレストラン」は、久慈保健所が作成した食事バランスガイドをベースとした「バランス弁当箱」に、参加者自らがバイキング形式で料理を詰めて食し、食後は、健康講座、健康体操を同レストランコースメニューとして組み合わせ、食事や運動の大切さについてわかりやすく伝える内容としている。

食生活改善推進員は、地元産の食材をふんだんに活用したメニューを考案、調理し、食事の際は、各テーブルに着き、料理の紹介、指導を行っている。また、食後の健康講座では、劇やクイズを織り交ぜた楽しくわかりやすい内容とし、健康体操を参加者全員で行うことにより、健康な身体づくりは、バランスのとれた食事と適度な運動が大切であることについて理解を図っている。

また、平成23年度には、同協議会において、バランス弁当調理例を4種類掲載した「バランス弁当を活用したオリジナルヘルシーレシピ集～♪ヘルシーレストランへようこそ♪～」を作成し、参加者に配布して、家庭での実践・定着を図っている。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：町民

場 所：町内集会施設

内 容：低カロリーな食事の提案、健康講座、健康体操等を組み合わせた1日限りの「ヘルシーレストラン」を開催

実施時期：年1回

実施回数：平成20年度から開始し、今年度で6回目

<調理風景>

<保健師による血圧測定>

<バランス弁当を作成>

<みんなで試食>



<クイズや劇を取り入れた健康講座>

<みんなで健康体操>

<集合写真>



○ **関係団体との連携**

町健康増進課と連携し、レストラン開催時は、保健師による健康相談等を実施。

○ **活動の成果・効果**

「ヘルシーレストラン」終了後のアンケートでは、「薄味でとても美味しい。自分の味付けが如何に濃い味だったかわかった。」という内容の感想が多く、参加者のほぼ全員が、空の弁当箱を自宅での実践用にと持ち帰る等、参加者の食に対する意識の変化がみられる。また、同協議会に対して、町や保育園(所)、学校、地域等から、行事等への要請が年々増加しており、『「食」による健康づくり』の活動の場が広がっている。

○ **今後の課題・展望**

レストラン参加者はリピート率が高く、また、地区栄養講習会においてもヘルシーレシピ等の普及を図っているところだが、事業への参加が難しい子育て世代等、広く普及推進を図るため、効果的な事業等を検討しながら、今後更に、「食による健康づくり」を推進していくものである。

団体の紹介	洋野町食生活改善推進員協議会
連絡先	洋野町農林課 〒028-8802 洋野町大野8-47-2 TEL：0194-77-2113

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

幼少期の食育は、その後の嗜好性に大きく影響を及ぼします。この大事な時期に食べることの楽しさと興味を養い、自分で望ましい食物を選択する能力を培う基盤作りを目的としています。お手伝いをしたことのない園児から、興味を持って自ら行おうとする児童までを対象とし、料理をする楽しさを親子で学んでいただくものです。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：4歳～小学生の子供と保護者、保育所・幼稚園の職員など 参加者26名

場 所：いわて県民情報交流センター（アイーナ6階 調理室）

内 容：親子で調理実習(すいとん、ごぼうとにんじんのから揚げ、豆腐入り団子、スイートポテト)

「おやつ目的や選び方」の講話

実施時期：平成25年11月16日(土) 10:00～13:00

実施回数：1回



## ○ 活動の成果・効果

初めて料理する子どももいましたが、子どもたちは飽きることなく最後までお手伝いをしていました。子どもたちに料理する楽しさ、保護者の方には講話などを通して食の大切さを伝えることができました。

## ○ 今後の課題・展望

参加者の好評を得ることができたので、開催回数を増やし調理実習を通して食育を学ぶ機会を作って行きたいと考えています。

## 団体の紹介

県民の健康増進、疾病予防のための講演や相談及び体験活動を実施しています。また、管理栄養士・栄養士の資質の向上を図るための研修事業を行っています。

## 連絡先

〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通6-50  
TEL：019-625-3706 FAX：019-625-3707

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

- (1) 歯育・食育に関する講演会の開催
- (2) 歯育・食育に関する普及啓発
- (3) 歯育・食育支援プログラムの作成

## ○ 具体的な取組の様子

- (1) 歯育・食育に関する講演会の開催

開催日	平成22年3月2日(火)
場 所	ホテルサンルート釜石
時 間	午前10時～12時
講 師	岩手県歯科医師会 地域歯科保健委員 及川陽次
対 象	食生活改善推進員
内 容	「歯育と食育」(講話)
参加数	65名

開催日	平成22年3月4日(木)
場 所	陸前高田市役所
時 間	午前9時30分～12時
講 師	岩手県歯科医師会 地域歯科保健委員 熊谷優志
対 象	食生活改善推進員
内 容	「歯育と食育」(講話)
参加数	46名

開催日	平成22年3月17日(水)
場 所	ホテルシティプラザ北上
時 間	午後7時～9時
講 師	野菜ソムリエ 及川盛子
対 象	一般市民、歯科医師、食生活改善推進員等
内 容	「実践しましょう!野菜・果物で健康生活」(講話)
参加数	85名

(2) 歯育・食育に関する普及啓発

開催日	平成21年11月21日(土)	平成22年3月2日(火)
場 所	ホテルメトロポリタン盛岡本館	ホテルサンルート釜石
時 間	午前11時～16時	午前10時～12時
対 象	一般県民	食生活改善推進員
内 容	歯に良い料理の試食	歯に良い料理の展示
参加数	100名	65名

開催日	平成22年3月4日(木)	平成22年3月17日(水)
場 所	陸前高田市役所	ホテルシティプラザ北上
時 間	午前9時30分～12時	午後7時～9時
対 象	食生活改善推進員	一般市民、歯科医師、食生活改善推進員等
内 容	歯に良い料理の試食	歯に良い料理の試食
参加数	46名	85名

(3) 歯育・食育支援プログラムの作成

DVDはにまるくん・はにいちゃんと遊ぼう「カムカム元気」

—しっかりかんで、健康づくり—

○ 関係団体との連携

岩手県保健福祉部



○ 活動の成果・効果

「歯と口の健康」と「食」は非常に密接に関連しており、すべての人に身近な「食」という点から「歯と口の健康」の理解と関心を深めるために、歯育と食育を連携させた普及啓発活動を出来た。

また、子どもが各ステージにおいて「歯と口の健康」と「食」の関連について理解が深めることが出来た。

○ 今後の課題・展望

継続的事業として展開したい。

団体の紹介	一般社団法人岩手県歯科医師会
連絡先	〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2丁目5番25号 岩手県歯科医師会館(8020プラザ) TEL : 019-621-0800 FAX : 019-654-5474



## 【取組内容】

### ○ 活動の概要

食生活改善推進員・保健推進員が中心となり、健康教育、調理実習やレクレーションを行っている。各地区の顔なじみが集い、アットホームな感じで楽しみにしている住民は多く、お隣さんから地区住民への食生活改善の輪を広げる。

### ○ 具体的な取組の様子

対 象：九戸村全住民

場 所：各地区公民館・集会所

内 容：血圧測定、家庭の味噌汁の塩分測定、調理実習、バランスの良い食事のお話し(毎年テーマ別)、レクレーション(大カルタ取り大会、小物製作など)を行っている。調理実習の材料は、参加者の各家庭で取れた冬越ししている野菜を持ち寄り、料理のレパートリーを増やしている。



実施時期：毎年12月～3月(農閑期を利用したの集い)

実施回数：村内10～12地区

### ○ 関係団体との連携

事業の計画・実施・参加者の招集は、食生活改善推進員・保健推進員で行っている。当日は、保健師に血圧測定、栄養士に食事について助言を依頼している。

### ○ 活動の成果・効果

家庭の味噌汁の塩分測定を続けることにより、薄味が定着した。また、参加者が年々増えている。

### ○ 今後の課題・展望

若い方、男性の方の参加が少ないので、もっと幅広く参加者を募り、若い世代への食育を進展させたい。

## 団体の紹介

食生活改善推進員協議会は、昨年度創立30周年を迎え郷土料理の伝承、地産地消を掲げレシピ集を発刊した。現在、会員53名。

## 連絡先

事務局：九戸村保健センター  
〒028-6502 九戸村大字伊保内第10地割11番地6  
TEL：0195-42-2111 内線122

### 【取組内容】

#### ○ 活動の概要

成長期である子どもたちが、自分で食事を自己管理できるよう、主食・主菜・副菜とバランスがとれている和食への関心を高め、楽しく調理し、感謝の心を育むことを目的に、平成20年度から学校と連携して実施している。

特色ある取り組みとして、マスコミにも取り上げられた。

#### ○ 具体的な取組の様子

対 象：中学2年生(2クラス)

場 所：城東中学校 調理室

内 容：①食改員による調理のための講話

②調理実習

③弁当への詰め方，バランスのよい食事について食改員より講話

④弁当へ詰める

⑤会食



実施時期：毎年概ね6月(平成23・24年度は実施なし)

実施回数：各クラス1回/年

#### ○ 活動の成果・効果

子どもたちは、自分で弁当箱に詰めることにより、バランスよく食べることの大切さに気づき、自分の適量について理解したようであった。生徒の感想からは、魚・和食の良さを感じたり、家でも作りたいなどと、成果が得られている。

#### ○ 今後の課題・展望

今後も食育活動を続けていけるよう、子どもたち、保護者へ積極的な周知・啓発を行う。

#### 団体の紹介

盛岡市食生活推進団体連絡協議会

#### 連絡先

〒020-0884 盛岡市神明町3-29  
TEL：019-603-8305

【取組内容】

○ 活動の概要

男性は退職後、特にも妻に先立たれると心身ともに健康で生活することができなくなる場合が往々にしてあることから、料理技術の向上を通じて、安定した家庭生活と参加者同士の交流によるリフレッシュを行っている。

○ 具体的な取組の様子

対 象：小川地区の主に退職後の男性

場 所：小川集会所

内 容：調理実習、栄養士による栄養指導、地域住民に対する試食会等

実施時期：通年

実施回数：11回



○ 関係団体との連携

釜石市保健福祉部地域包括支援センター、釜石市立小佐野公民館

○ 活動の成果・効果

調理技術の向上により、安定した家庭生活に寄与しているとともに、地域住民の認知もすすみ会員はやりがいを感じており、健康の保持増進に役立っている。

○ 今後の課題・展望

会員の高齢化と固定化が進んでおり、新規会員の確保が課題となっている。

<p>団体の紹介</p>	<p>小川地区の主に退職後の男性で組織されている小川メンズグルメ会は、およそ20年前から活動している団体である。</p>
<p>連絡先</p>	<p>釜石市立小佐野公民館 〒026-0052 釜石市小佐野町3丁目4番25号 TEL：0193-23-5037</p>

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

たんぽぽ学級は、乳幼児をもつ親を対象に子育てに関わる学習や実践活動を通して、感動や悩みを共有し参加者同士の交流を深め、明るく心豊かな親子を育てることを目的とした講座です。その中のテーマの一つに「食育」があり、月齢に合わせたおやつや季節の行事にちなんだ献立などの調理・会食などを実施しながら、乳幼児期からの食に対する意識を高める活動を行っています。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：妊婦や0歳から3歳までの乳幼児をもつ親

場 所：山田町中央公民館・中央コミュニティセンター

内 容：「簡単安心！手作りおやつ」

季節や月齢に合わせた簡単なおよつもの調理・会食  
「簡単米粉パンでランチ」

アレルギーに配慮した米粉のパンと副菜の調理・会食  
「お祝いごはんと郷土おやつ」

季節の行事にちなんだ献立と山田の郷土およつもの調理・会食

実施時期：第1期(5～7月)・第2期(9～11月)・第3期(1月～3月)の各期毎に、  
「食育」をテーマとした学習内容を取り入れています。

実施回数：3回(6月25日・10月22日・2月18日)



## ○ 関係団体との連携

健康福祉課食育推進係と連携し、山田町食生活改善推進員を講師に招き、食育の講座を実施しています。また、講座開催時には、子育て経験豊富な託児ボランティアが安全に子どもをサポートする体制が整っており、参加する親が安心して充実した学習ができるようになっています。

○ **活動の成果・効果**

- ・ 離乳食への移行を考えていたり偏食等で悩んでいたたりする親にとって悩みを相談し、解決することのできる場となっています。
- ・ 食材の工夫や調理方法等によって、子どもが今まで食べられなかったものを食べている様子など、普段とは異なる姿を見ることにより、子どもの成長を感じ取る大切な機会となっています。
- ・ 手作りのおやつは、素材が分かることで安心して子どもに食べさせることができるなど、安全な食に対する親の意識を高めることができます。
- ・ 親子が食を通して、季節や伝統的な行事にふれるよい機会となっています。

○ **今後の課題・展望**

対象が0歳から3歳と広範囲であることやアレルギーをもつ子どもがいることに配慮しながらそれぞれの対象者に対応した内容を考えたり、親と子が食育を通してふれあったりなど、食について考えるよりよい機会となるよう、さらに工夫をしていきたいと考えています。

団体の紹介	山田町教育委員会生涯学習課社会教育係
連絡先	〒028-1392 山田町八幡町3-20 TEL：0193-82-3111 FAX：0193-82-0030 <a href="http://www.town.yamada.iwate.jp/">http://www.town.yamada.iwate.jp/</a>

## 【取組内容】

### ○ 活動の概要

本県では、脳卒中死亡率及び肥満者の割合が高率であることから、料理・弁当等を調理・提供する店舗の栄養成分表示を拡充させ、エネルギー及び塩分等の表示を行うことにより、栄養成分への関心を高め、もって県民の健康増進に資することを目的に、栄養成分表示を行う飲食店等を登録及び周知する事業を実施しています。

### ○ 具体的な取組の様子

対 象：一般県民

場 所：飲食店等

内 容：エネルギー及び塩分等を表示した飲食店等を「外食栄養成分表示登録店」、コンビニ等を「栄養成分表示協力届出店」として県の名簿に登録し、県民に向けてホームページで周知を行っています。



栄養成分表示の例（北上市：さん食亭）

県民の方への周知は、保健福祉部健康国保課ホームページの他、Yahoo!ジャパンの「スポットノート」も利用しています。



「スポットノート」ホームページ

URL：<http://spotnote.yahoo.co.jp/list?cid=6c31ba1481803ea57ce6d93877224ec3>

または、[岩手 栄養成分表示]で

実施時期：通年

実施回数：現在の外食栄養成分表示登録店の店舗数 82店舗

○ **関係団体との連携**

県内飲食店等、盛岡市保健所

○ **活動の成果・効果**

(1)平成24年度に実施された県民生活習慣実態調査において、外食等での栄養成分表示の参考状況について調査を行ったところ、「いつも参考にしている」、「時々参考にしている」と回答した方は、合わせて3割程度でした。

(2)保健所からの働きかけで栄養成分表示を行った店舗の中には、「店舗としても健康に配慮したメニュー作りに取り組むきっかけとなった。」といった声もあり、飲食店側の意識改革にも繋がっていると考えられます。

○ **今後の課題・展望**

健康いわて21プラン(第2次)では、栄養成分表示を行っている飲食店等の数を1,000店舗まで増加させることを目標としており、今後も住民の方の食環境整備のため、栄養成分表示を行う店舗の拡充を推進します。

また、栄養成分表示を参考に健康的な食生活を営むことについて、住民の方への啓発を推進していきます。

<b>団体の紹介</b>	岩手県保健福祉部健康国保課
<b>連絡先</b>	〒020-8570 盛岡市内丸10-1 TEL：019-629-5468 FAX：019-629-5474 e-mail：AD0003@pref.iwate.jp

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

小学生とその親を対象に、自然散策と山菜採りを楽しむとともに、山菜を使ったいろいろな料理を学びながら、旬の味わいと春の季節を楽しみました。名付けて「出かけて楽しむ食育講座」

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：小学生とその親 13組33人

場 所：盛岡市外山森林公園

内 容：貸切バスで、晩春とはいえ道路沿いにはまだ残雪のある外山森林公園へ。自然の中を散策しながら、公園管理人の説明を参考に山菜や野草の採取。

その後は野外で調理した山菜料理や石窯で焼いたピザに舌つつみを打ちながら親子のふれあいを楽しみました。

しかも、帰りにはカブト虫の幼虫をプレゼントされ子供たちの間に大歓声が上がりました。参加料は1組500円。

実施時期：平成25年5月26日(日) 10時～14時

実施回数：1回

<ワラビを探す参加者>



<本格的な石窯でピザ焼き>



<カブト虫の幼虫に大歓声>



## ○ 関係団体との連携

盛岡市森林組合(森林公園の指定管理者)、盛岡市林政課

## ○ 活動の成果・効果

普段はスーパーや八百屋でしか目にできないワラビやウドが、足元に自生しているものを見つけたときの感動と、その山菜が野外でおいしく調理されて食べられることの感激は、非常に有意義な内容であったと思います。

また、山菜調理は、地元テレビに出演している料理研究家が創作料理として腕をふるったためたいへん美味しく、参加者には大好評でした。

## ○ 今後の課題・展望

自生する山菜はアクが強く、現地ではそのまま調理できないため持ち帰りとししました。調理用には、別途事前に用意した山菜を使用せざるを得ませんでした。

## 団体の紹介

公益財団法人 盛岡市文化振興事業団(盛岡市河南公民館)

## 連絡先

〒020-0873 盛岡市松尾町3-1  
TEL : 019-622-2258 FAX : 019-622-1910  
<http://www.mfca.jp/morigeki>



## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

小学生とその親を対象に、秋の外山森林公園の自然散策を楽しみながら、キノコと樹木の関係や「食べられる」キノコと「食べられない」キノコの見分け方を学びます。散策後は現地で料理した芋の子汁(キノコ汁)をみんなで味わいました。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：小学生とその親 7組18人

場 所：盛岡市外山森林公園

内 容：秋の大自然の中を散策しながら、出会ったキノコと樹木との関係や「食と毒」の見分け方などを学び、現地で調理した芋の子汁(キノコ汁)に舌づつみを打ちながら、親子で自然のめぐみと伝統的な食文化を見つめる機会としました。

実施時期：平成25年10月6日(日) 10時～14時

実施回数：1回

<園路沿にキノコはないぞ> <旨そうな湯気を上げるキノコ汁> <ホウノ木の葉で作った仮面の親子>



## ○ 関係団体との連携

盛岡市森林組合(森林公園の指定管理者)、盛岡市林政課

## ○ 活動の成果・効果

見つけたキノコが食用だったときの歓声は、野外ならではのもの。

また、大自然の中で家族と一緒に食べた食事は、子供にとっては末永く記憶に留まる傾向があることから、親子の絆を深める上で非常に有意義な内容であったと思います。

## ○ 今後の課題・展望

盛岡は自然が豊富過ぎるため、こうした企画は長年盛岡に居住している市民よりも居住歴の浅い転勤家族の皆さんに好評です。

普段から盛岡の自然に慣れ親しんだ住民へ、アピールするには、さらにバージョンアップした企画が必要と考えています。

## 団体の紹介

公益財団法人 盛岡市文化振興事業団(盛岡市河南公民館)

## 連絡先

〒020-0873 盛岡市松尾町3-1  
TEL：019-622-2258 FAX：019-622-1910  
<http://www.mfca.jp/morigeki>

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

## 1 目的

中央卸売市場を市民に開放し、物販、イベント、展示等を通じて、市民の生鮮食料品流通への関心を高めながら、食生活の向上と食育の普及を目的とします。

## 2 事業主体

盛岡市中央卸売市場運営協力会、市場まつり実行委員会

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：一般市民

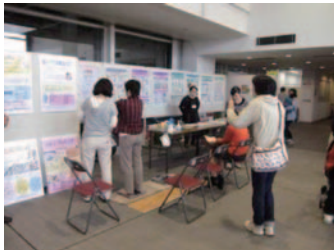
場 所：盛岡市中央卸売市場

内 容：岩手県栄養士会盛岡支部による主な実施内容は、以下の通りです。

- ・栄養相談
- ・食育クイズ
- ・試食コーナー
- ・食育ブック絵本読み聞かせ
- ・パネル展示
- ・体脂肪測定

実施時期：平成25年10月6日(日) 午前9時～午後2時

実施回数：年1回



## ○ 関係団体との連携

岩手県栄養士会盛岡支部

## ○ 活動の成果・効果

市場まつり来場者数 28,000人

食育コーナー来場者数 およそ160人～200人

体脂肪測定をされた方が多く、食習慣や運動習慣を見直す機会を提供することができました。

## ○ 今後の課題・展望

より多くの方に食育コーナーへお立ち寄りいただけるよう、工夫をしていきたいと考えています。

## 団体の紹介

盛岡市中央卸売市場業務課

## 連絡先

〒020-8567 盛岡市羽場10地割100番地  
TEL：019-614-1000

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

地場農産物の地元消費の拡大及び食の重要性や農業理解を深めるため、市内小中学校の学校給食において地場産品を活用していくことを目的として活動。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：盛岡市内の小中学校

内 容：

- 1 市内の完全給食実施校において、学校給食に協力可能な生産者を登録し、各学校と生産者の供給体制を構築することにより、農産物を使った給食の取組みに対して支援を行う。
- 2 毎年10月に「いもの子給食の日」を実施。各構成団体と協力し盛岡の特産品である「津志田芋の子」の発注・納品を行い、市内全校で芋の子を使ったメニューの給食実施を支援。また、生産者を学校に招き、子どもたちと交流する昼食会も企画している。

実施時期：1 通年

2 年1回



## ○ 関係団体との連携

協議会の構成団体…盛岡市、盛岡市教育委員会、農協、公益財団法人岩手県学校給食会、(株)JAシンセラ

## ○ 活動の成果・効果

学校給食を通して、子どもたちに地元農産物の美味しさを伝えることにより、農業への理解、食の大切さを深めることができる。

## ○ 今後の課題・展望

- 1 生産者の参加者が減少傾向にあり、新規の参加者の掘り起こしが課題となっている。
- 2 学校からは、カット加工済の商品を求める声も多い。また、生産者が高齢化傾向にある。

## 団体の紹介

学校給食地場産品活用推進協議会

## 連絡先

事務局：盛岡市農政課  
〒020-0878 盛岡市肴町2-29  
TEL：019-626-7540

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

技術・家庭科の時間に、郷土料理である「かまもち」作りを行った。昔から伝わる郷土料理を実際に作ることで、食文化の理解を深める。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：1 学年

場 所：学校

内 容：給食の準備・片付けの参観

親子で給食を一緒に試食

試食時に栄養教諭が食に関する指導を行った

実施時期：7 月

実施回数：2 回

## ○ 活動の成果・効果

7 月末に支援で来校した長野県の小学生をかまもちでもてなした。

団体の紹介

大船渡市立吉浜中学校

連絡先

〒022-0102 大船渡市三陸町吉浜字扇洞127-2  
TEL：0192-45-2153

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

4月 ジャガイモを植える(4・5歳児)。

6月 ミニトマト、ピーマン、ナスを植える。

7月 野菜の収穫 収穫したものでカレー作りをして外で会食する。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：全園児

場 所：保育園 園庭(園舎前)

内 容：クッキング

1～3才児は人参、玉ネギ(皮むき)、ジャガイモなどの洗い方

4才児はピーラーを使っての皮とり作業

5歳児は包丁を使い、野菜の切り方

実施時期：毎年7月25日前後

実施回数：1回

## ○ 活動の成果・効果

自分たちが植え、水やりをして育てた野菜を収穫し、料理することで関心を持ち、苦手な野菜(ナス、ピーマン等)も食べられるようになりました。

## ○ 今後の課題・展望

課題は特にありません。各年齢の人数も少なくなっているため、家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりに目が行き届き、手を切る子も殆どいません。

## 団体の紹介

蛸ノ浦保育園

海を見下ろせる高台にあり、広い園庭が自慢の保育園です。  
大きい子から小さい子まで仲良しで、元気に遊んでいます。

## 連絡先

〒022-0007 大船渡市赤崎町字鳥沢62番地2

TEL/FAX：0192-27-9847

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

3・4才児月2回、5才児月1～2回実施  
月のテーマに沿ったお話(栄養士)

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：5才児

場 所：保育室

内 容：0・1・2才児が昼食に食べるごはんの米とぎ(毎日)

裏山から梅を収穫し、梅干づくり、梅ジュース作り、しそジュース作り  
うどん作り 等

実施時期：4～3月

実施回数：月1～2回

## ○ 活動の成果・効果

定期的にクッキングを楽しむことにより、身支度はもちろんのこと器具の使い方などにも慣れてきた。自分たちで材料を買いに行ったり、収穫したりすることで自ら工夫して取り組む姿も見られている。

## ○ 今後の課題・展望

課題としては、今後も衛生面への配慮に十分気をつけ、定期的に楽しいクッキングをしたいと思っている。

展望としては、大人になっても作って食べることの大切さを感じられるようになるために、幼児期のクッキングの経験を楽しんで継続的に取り組めるようにしていきたい。

## 団体の紹介

猪川保育園  
きらり輝く太陽の子をめざしています。

## 連絡先

〒022-0004 大船渡市猪川町字轆轤石34番地1  
TEL：0192-26-3212 FAX：0192-47-3961

【取組内容】

○ 活動の概要

食育推進を図ることを目的に、大迫中学校2学年家庭科授業の一環として定着した事業である。

また、花巻の食材を生かした郷土食「かまやき」の実習を通し地域に伝わる食材について学習した。

○ 具体的な取組の様子

対 象：花巻市立大迫中学校 2学年 55名（2クラス）

場 所：花巻市立大迫中学校調理室

内 容：大迫中学校2学年2クラスにおいて実施した。

当日は、学校開放日ということで保護者や学校関係者の方々の参観もあり、食育講座を地域の方々に広報できる機会にもなった。

学校の授業において、郷土料理について事前学習を実施したことにより生徒の実習意欲に繋がり実習展開が効率よく実施できた。

実施時期：平成25年12月10日

実施回数：2回(2クラスのため)

○ 関係団体との連携

花巻市食生活改善推進員協議会大迫地区会

中部保健所に情報提供

○ 活動の成果・効果

冬期休業中の生徒への課題として、郷土料理についての実習に取り組むことを予定していることもあって、事前学習から本事業である郷土料理実習は効果的であった。

また、地域に伝わる郷土料理の伝承を地域の食生活改善推進員が調理指導をすることにより生徒の理解が深まった。

○ 今後の課題・展望

本講座を多くの中学校で実施できるよう学校担当者に働きかけをしていきたい。

団体の紹介

花巻市健康こども部健康づくり課

連絡先

〒025-0055 花巻市南万丁目970番地5  
 TEL：0198-23-3121

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

地域の人たちと協力しながら作物を栽培することにより、作物の育成に対する興味を高め、農業への理解を深めるとともに、自分たちで育てた作物を食材として調理し、収穫を喜び合うことにより、食の大切さを実感させ、食に対する感謝の気持ちを高める。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：1～6学年 342名 第5学年 55名

場 所：学校農園、水田

内 容：

回数	実施時期	内 容
1	4月～9月	・学級ごとに割り当てられた学級園の草取り
2	5月・6月	・堆肥散布、学級ごとに畝作り及び作物の植え付け 1年生 さつまいも、ひまわり、枝豆 2年生 さつまいも、ミニトマト、ニンジン 3年生 さつまいも、ミニトマト 4年生 ピーマン、ミニトマト、トウモロコシ、ヘチマ 5年生 きゅうり、ジャガイモ 枝豆 6年生 蕎麦 特別支援 きゅうり、なす、じゃがいも、さつまいも、ミニトマト ・田植え
3	8月上旬～10月中旬	・学級ごとに育てた作物の収穫
4	10月末	・学級ごとに来年に向けて後始末 ・稲刈り、米の収穫
5	11月	・収穫した作物で簡単な調理をする。 ・お世話になった人を招待し収穫の喜びを味わう。

## ○ 関係団体との連携

農園作業の指導・お手伝い 見守り隊(松崎ランドゴルフ協会)

米作り指導 有限会社「夢大地」

松崎ランドゴルフ協会 【連絡先】 会長 菊池兵吉氏 0198(62)7804	見守り隊として、本校児童の登下校時の見守りをしてくださっているが、農業についてのノウハウもあり、農園作業の指導を依頼し、児童との交流を深めている。
(有)夢大地 【連絡先】 代表 白金良一氏 0198(66)3411	水田、苗を提供して頂き、米作りについて指導頂いている。



○ **活動の成果・効果**

- ・作物を自分たちで育てたことにより、収穫する喜びを味わわせることができた。
- ・地域の方々に指導をいただきながら一緒に作物作りに取り組み、感謝の会を実施する活動を通して、収穫の喜びを味わい、地域の方々への感謝の気持ちを高め、交流を深めることができた。

○ **今後の課題・展望**

- ・人数に対して農園の面積が狭く、運用の仕方について工夫が必要である。
- ・作物づくりや遠野の自然に触れる機会を大切にしながら、地域との交流を深め、ふるさとを愛する気持ちや地域に貢献しようとする気持ちをさらに高めていきたい。

<b>団体の紹介</b>	遠野市立遠野北小学校
<b>連絡先</b>	〒028-0541 遠野市松崎町白岩字薬研淵43 TEL：0198-62-2030

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

二戸の宝の食文化を次の世代に継承することを目的に開催

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：一般市民

場 所：総合福祉センター、ほほえみセンター

内 容：郷土食調理実習、郷土食のいわれや栄養の話

実施時期：春、秋、冬

実施回数：年3回

## ○ 関係団体との連携

食の匠、おいしい雑穀料理伝え隊



## ○ 活動の成果・効果

年々参加者が増えてきて、若い世代の参加割合が多くなってきた。

## ○ 今後の課題・展望

参加した方が地域に戻って伝承できるよう支援していきたい。さらに若い世代の参加を増やしていきたい。

## 団体の紹介

二戸市総合福祉センター健康推進課

## 連絡先

〒028-6198 二戸市福岡字八幡下11-1  
TEL：0195-23-1313 内線245

**【取組内容】**
**○ 活動の概要**

同組合は、03年に農家女性により活動が始まり徐々に組織を拡大し、11年に供給組合として発足、その後も試行錯誤を続けながら、学校給食センター、学校栄養職員と連携し計画的な食材提供に努めているほか、「ふれあい給食会」の共催などにより市内小中学生との交流も深めています。

**○ 具体的な取組の様子**

対 象：滝沢市立の全小中学生

場 所：滝沢市学校給食センター

内 容：地元食材の学校給食への提供(平成24年度実績59回、約11,000kg)と「ふれあい給食会」共催により児童・生徒との交流を図り地産地消や食物の大切さなど食育を推進しています。



実施時期：通年(地元食材の提供)、「ふれあい給食会」は順次年1回開催

実施回数：食材提供平成24年度実績59回、「ふれあい給食会」平成24年度1回

**○ 関係団体との連携**

学校給食センターと連携し地元食材の情報提供や農業について理解を広めています。

**○ 活動の成果・効果**

学校給食を通して、特産物や地元食材の味わい、魅力や農業をPRし、子供たちの理解・関心の向上に繋がっていると考えています。

**○ 今後の課題・展望**

継続的な活動により子供・保護者の皆さんに積極的に周知啓発を進めていきます。親子が食育について考える機会となるような取り組みを検討していきます。

**団体の紹介**

滝沢市学校給食食材生産供給組合  
(2012年度地産地消優良活動表彰 食料産業局長賞 受賞)

**連絡先**

〒020-0632 滝沢市牧野林1000-1 産直チャグチャグ内  
TEL：019-699-3910

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

私たち食生活改善推進員は、子どもたちが楽しく協力して、簡単な料理を作る技術や地元食材に対する理解を深めることを目的に、平成20年度から地場産品の米粉を活用した「きな粉とごまの二色巻き」おやつ作り体験教室を実施しています。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：小学校3～4年生(希望する小学校・学年)

場 所：小学校内家庭科室

内 容：①希望する小学校で事前打ち合わせを行います。

②食材・調理器具の準備をします。

③各班に1～2名の食生活改善推進員が講師として入り、子どもたちと一緒に作り、試食、片付けをします。蒸し時間を利用して、食育ミニ講話「ま・ご・た・ち・に・わ・や・さ・し・い」等についてお話をします。

実施時期：7月～2月

実施回数：2時間／1回



## ○ 関係団体との連携

事業の計画・実施にあたっては、各小学校の副校長先生・担任教諭との事前打ち合わせを行います。また、町健康推進課の栄養士との連携をとりながら進めます。

## ○ 活動の成果・効果

各班へ食生活改善推進員が入る事で、きめ細やかな調理指導ができました。

子どもたちは簡単な調理技術を学ぶことができ、学校での活動だけでなく、家庭

でもレシピを見てチャレンジしたいなどの感想があり、調理への関心が深まりました。

○ 今後の課題・展望

本教室で活用している地場産品クイズなどの教材を作成するなど、地元食材に対する理解も深められるよう工夫していきたいと考えています。

団体の紹介	雫石町食生活改善推進員連絡協議会事務局(雫石町健康推進課内)
連絡先	〒020-0542 雫石町万田渡74番地1 TEL : 019-692-2227 FAX : 019-691-1106

### 【取組内容】

#### ○ 活動の概要

子ども達に絵本の読み聞かせをし、その中に描かれている食べ物を実際に作ってみます。地元食材を使うことで食べ物の本来の味や美味しさを覚えると同時に、楽しく作り楽しく食べることで「心の栄養」も育みます。



#### ○ 具体的な取組の様子

対 象：5歳から小学3年までの子と親

場 所：オガールプラザ内キッチンスタジオ

内 容：読み聞かせとクッキング・会食

実施時期：平成25年4月～平成26年2月まで 月1回

実施回数：11回



「くまのこーフ」の朝ごはんはパンとはちみつと目玉焼きでした  
神沢利子



小麦を刈り取り粉にして・・・「ホットケーキできあがり！」  
エリック・カール



イギリス式ティータイムを楽しもう！「ふしぎのくにのアリス」  
ルイス・キャロル



今日は皆がパン屋さん「からすのパン屋さん」  
かこさとし



パスタを手作り「スージーちゃんのスパゲッティ」  
ペータ・コプランズ



くるみむきに挑戦「14ひきのあさごはん」  
いわむらかずお



ファーストフードメニューを手作りで！  
「ハンバーガーを作ろう」



“お菓子の家”作り「ヘンゼルとグレーテル」  
グリム童話より

#### ○ 関係団体との連携

紫波町図書館と連携し、読み聞かせを担当していただいています。

#### ○ 活動の成果・効果(アンケートより)

読み聞かせの後ということで、子どもたちが積極的に調理に挑戦している。また皆で協力して作ることも学び、普段食べない食材も美味しく食べている。

既製品を使用することが多いホットケーキやパイ生地も、簡単にでき、そして美味しいので、家でも作ってみたい。

○ 今後の課題・展望

この活動を通じて食文化の掘り起こしを図り、「地元産の食材の魅力、手作りの美味しさ・楽しさ」を伝え、食べることを大事にする親が育つことを願い、活動を継続していこうと思います。

団体の紹介	地元産南部小麦粉を使用してベーグル・スコーンを製造し販売している
連絡先	〒028-3321 紫波町江柄字清水屋敷90-2 TEL/FAX : 019-681-2393 e-mail : info@kikupan.jp <a href="http://www.kikupan.jp">http://www.kikupan.jp</a>

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

ブラックベリーの収穫とジャム作りの体験

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：町内小学生親子 32名

場 所：ベリー&ベリー園(町内ブラックベリー園地)

矢巾町農業構造改善センター

内 容：農園地にて農園主からのブラックベリーの説明を受け、収穫体験をした。  
収穫後、調理施設のある農業構造改善センターに場所を移し、ジャム作りと試食を行った。

試食中には栄養士による食育の話し(食生活指針について)を行った。

実施時期：平成25年8月2日

実施回数：1回

## ○ 関係団体との連携

矢巾町農業対策会議(事務局：役場農林課 構成員：岩手中央農協・盛岡農業改良普及センター・町農業委員会・町生きがい推進課・町学校給食共同調理場)

## ○ 活動の成果・効果

保護者の中でも、農園地に入ること自体が初めての方もおり、生産者と消費者を直に結ぶことに役立っている。

子どもたちは『自分たちが口にしている農作物は、多くの方が苦勞して作っている』ということが実感できた。

## ○ 今後の課題・展望

昨年に引き続き2回目の開催となる。小学校を通じて募集すると、すぐに定員30名に達するほど人気である。継続して開催していきたい。

## 団体の紹介

矢巾町農業対策会議

## 連絡先

事務局：矢巾町農林課  
〒028-3692 矢巾町大字南矢幅13-123  
TEL：019-611-2612



## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

学校給食における郷土料理の提供

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：西和賀町小中学校の児童・生徒

場 所：各小中学校

内 容：学校給食の献立に「西和賀味めぐりの旅」として5ヵ所の都道府県の食材を使った郷土料理を提供、更に学校放送や献立に掲載し周知した。また、毎月1回「西和賀給食の日」を設け、西和賀の食材を使った、西和賀の郷土料理を提供している。

実施時期：6月(西和賀味めぐりの旅)

毎月(西和賀給食の日)

実施回数：4回(西和賀味めぐりの旅)

9回(西和賀給食の日)



凍み大根を使った煮物と舞茸のみそ汁の提供

## ○ 関係団体との連携

西和賀地区生活研究グループ連絡協議会より、地元食材を提供していただいている。

## ○ 活動の成果・効果

各地域の特産品や郷土料理の特色、また食の歴史や大切さを知ることができた。また、地元の食材や郷土料理を改めて知る機会となった。

## ○ 今後の課題・展望

今後も継続して提供し、郷土料理を伝えていく機会としていきたい。

## 団体の紹介

西和賀町教育委員会学務課

## 連絡先

〒029-5692 西和賀町沢内字太田2-81-1  
TEL：0197-85-2337 FAX：0197-85-2844

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

地域に伝わる郷土料理について講話を行った後、調理実習を行い、郷土料理への理解と関心を深める。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：平泉中学校2学年

場 所：平泉中学校

内 容：初回は町保健センター職員が「昔ながらの郷土食を学ぶ」と題し栄養講話を行い、郷土料理とは何か、地域に伝わる郷土料理にはどのようなものがあるかについて講話を行った。2回目の実習においては長島が発祥の地と言われる「はっとう」を町の食生活改善推進協議会会員とともに実際に調理し、試食した。調理実習には保護者の参加もあり、子どもの調理の姿を観察し、理解を深めた。

実施時期：6月

実施回数：2回(講話1回、調理実習1回)

## ○ 関係団体との連携

調理実習において、町の食生活改善推進協議会に協力をいただいた。

## ○ 活動の成果・効果

地域の郷土食を地域の方と一緒に調理、試食することで、和気あいあいとした雰囲気生まれ、より意義深い学習になった。

## ○ 今後の課題・展望

各学年に応じた食育指導を行うこと、また指導内容について、アンケート等を実施し実態を把握するなどの工夫を図りたいと考えている。

## 団体の紹介

平泉町学校保健会

## 連絡先

平泉町教育委員会事務局  
〒029-4192 平泉町平泉字志羅山45-2  
TEL：0191-46-5576

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

日本短角牛は、岩泉町が発祥で国内有数の主産地です。牛は放牧主体で飼養され、低脂肪で良質なたんぱく質の豊富な肉質が特徴です。その良さを、町内の子供たちに伝えるため、生産者との交流活動を続けています。毎年秋に岩泉町内全ての小学校に日本短角牛肉を用いたメニューを提供するとともに、町内で最も飼養が盛んな地域の子供たちと生産者が一緒に食事を行って交流を深めています。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：岩泉町内の小学生

場 所：町内の小学校(全校に給食の提供、1校で生産者交流会)

内 容：生産者との会食に併せて、日本短角クイズや質疑を行い、子供たちに日本短角牛ぬいぐるみを贈呈。また、生産者に対して子供たちから感謝状が渡される。

実施時期：毎年11月頃

実施回数：年1回



## ○ 関係団体との連携

生産部会、(株)岩泉産業開発、農業協同組合、宮古農業振興センター、宮古農業改良普及センター

## ○ 活動の成果・効果

毎年恒例となっており、子供たちは給食を楽しみにしているようです。

高学年になるにつれ、着実に日本短角牛に対する理解が深まっています。

## ○ 今後の課題・展望

日本短角牛の生産状況は厳しくなっているので、地域の子供たちが地域の特産物を正しく理解し、将来地域振興に寄与してくれるようこの取り組みを継続することとしています。

## 団体の紹介

岩泉町農林水産課

## 連絡先

〒027-0595 岩泉町岩泉字惣畑59番地5  
TEL：0194-22-2111 内線547

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

毎年6月の食育月間に行っている郷土食講習会。食を通じたボランティア活動を行っている食生活改善推進員が講師となり、講習会を行っている。

講習会でのメニューは生徒が自分たちで習いたいものを決める。当日使用する食材の中で、山菜等は生徒の家から持ち寄っている。

家族構成、家庭環境等の変化により、家々で郷土食を作り、食べるものが減ってきた今、地域住民が、地域の子供たちに地域の郷土食を伝え、楽しく食を通じた交流を行うことは大変意義深い。食生活改善推進員の活動目標にも、郷土食の普及啓発を掲げており、各家庭で作られなくなった郷土食は地域で残そうと取り組んでいる事例の1つ。



## ○ 具体的な取組みの様子

対 象：岩泉町内の中学生

場 所：地元中学校 家庭科室

内 容：地元中学校2年生のクラスに食生活改善推進員が6名入り、班に分かれ、山菜おこわ、けんちん汁、小豆ばっとう、きゅうりもみを作る。

実施時期：毎年6月

実施回数：年1回

## ○ 関係団体との連携

岩泉町立小川中学校、岩泉町(食生活改善グループいわいずみ会事務局)

## ○ 活動の成果・効果

毎年恒例となっており、生徒たちは実施を楽しみにしている。

食生活改善推進員の主体的な活動となってきており、事前に学校と何度か打ち合わせをするなど、スムーズな流れが出来ている。

## ○ 今後の課題・展望

町内の他地区でも同様の取り組みがなされているが、推進員の主体的な活動までに至ってはおらず、今後の発展が期待される。

## 団体の紹介

食生活改善グループいわいずみ会

## 連絡先

事務局：岩泉町保健福祉課  
〒027-0595 岩泉町岩泉字惣畑59番地5  
TEL：0194-22-2111 内線238

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

3年の修学旅行で自分たちが栽培した雑穀を「岩手銀河プラザ」で販売するため、その事前学習を兼ねた調理実習

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：中学2年とその保護者

場 所：晴山中学校

内 容：親子で雑穀料理を作り、試食後雑穀について学習する

実施時期：平成25年1月28日

実施回数：1回(毎年実施している)

## ○ 関係団体との連携

食生活改善推進協議会

## ○ 活動の成果・効果

雑穀の調理方法、栄養価について学ぶことが出来た。調理方法も簡単なので修学旅行で販売するときも紹介できる。

## ○ 今後の課題・展望

ここ数年の取り組みであった。

26年3月に閉校になるため、この事業は今年度が最後となる。

## 団体の紹介

軽米町立晴山中学校 2 学年

## 連絡先

軽米町健康福祉課  
〒028-6302 軽米町大字軽米2-54-5  
TEL：0195-46-4111

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

学校給食に新鮮で安心・安全な地元食材を提供し、子供たちの健全育成と地域農業の活性化を図ることを目的に活動しています。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：九戸村内の小学校児童及び中学校・高校の生徒

場 所：九戸村学校給食センターへ食材納入

内 容：米や季節の野菜を給食センターへ納入

実施時期：年間を通して実施

実施回数：月に7～8回程度納品



## ○ 活動の成果・効果

学校給食を通して、地元食材への理解・関心の向上に寄与できたものと考えます。

## 団体の紹介

九戸村農業者学校給食応援隊

## 連絡先

九戸村農業委員会内  
〒028-6502 九戸村大字伊保内第10地割11番地6  
TEL：0195-42-2111

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

毎月食育の日(19日)に日本各地の汁物の郷土料理を学校給食に取り入れる。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：九戸村内の小中学生

場 所：各学校(給食時間)

内 容：毎月食育の日(19日)を中心に日本各地の汁物の郷土料理を給食に実施する。その郷土料理のレシピなどは毎月の給食だよりで紹介している。また、各学校へ資料を提供し、給食時間に紹介するよう依頼している。4月：ひつつみ(岩手県)、5月：のっぺい汁(新潟県)、6月：あすか汁(奈良県)、7月：アーサ汁(沖縄県)、8月：横須賀海軍カレー(神奈川県)、9月：お講汁(滋賀県)、10月：きりたんぼ汁(秋田県)、11月：石狩鍋(北海道)、12月：スキー汁(長野県)、2月：具雑煮(長崎県)

実施時期：4月～12月、2月

実施回数：10回(現在9回実施)

## ○ 活動の成果・効果

日本各地の汁物にふれさせることができた。また、普段食べないような食材、味を体験させることができた。

## ○ 今後の課題・展望

給食の時間内だけで終わってしまったので、授業と絡むよう今後取り組んでいきたい。

団体の紹介

九戸村学校給食センター

連絡先

〒028-6611 九戸村大字山根第5地割95  
TEL/FAX：0195-43-2766

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

岩手県産食材を、より理解してもらう。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：社員

場 所：メルカテッセン(社員食堂)

内 容：岩手県産食材を使用したメニューについて、店内設置のメニューボードで、お知らせをします。

実施時期：通年

## ○ 関係団体との連携

メルク

## ○ 活動の成果・効果

岩手県産食材に対する関心の高まり

## ○ 今後の課題・展望

社内における、取組の周知を行うこと

## 団体の紹介

岩手朝日テレビ

## 連絡先

岩手朝日テレビ総務局総務部  
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-6-5  
TEL：019-629-2525



## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

児童が毎日飲んでいる牛乳について、酪農への関心と摂取の必要性を高めるため、県内の小学校に出向き出前教室を行っています。

授業では乳牛の体の仕組みや牛乳の栄養の話、又手作りバターや搾乳体験により理解の醸成を図ります。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：小学校4年生以上の児童

場 所：岩手県内小学校

内 容：青空コース・教室コースの2コースがあり各学校の希望により実施します。

## ◆教室コース

## 1)お話

- ①岩手県の酪農
- ②乳牛の体の特徴
- ③牛乳が作られるしくみ
- ④牛乳が食卓に並ぶまで
- ⑤牛乳と栄養

## 2)3種類の牛乳の飲み比べ

殺菌温度の異なる3種類の牛乳の飲み比べをします。

## 3)手作りバター体験

自分でバターをつくり、パンに塗って食べます。

&lt;牛乳酪農についてのお話&gt;



&lt;手作りバター体験&gt;



&lt;手作りバターの試食&gt;



### ◆青空コース

教室コースの内容に牛とのふれあい・搾乳体験が加わります。

乳牛(母牛・子牛)を学校に運搬し、搾乳体験や牛に触れて体温を比べたり、牛の心臓や胃袋の音を聞き自分の心音と比べ牛とのふれあい体験をします。

<ふれあい体験>



<子牛の心音を聞いてみる>



<搾乳体験>



実施時期：各学校の希望により毎年7月～11月の間に実施します。

実施回数：年間約20校

#### ○ 関係団体との連携

事業の実施にあたっては、出前教室の講師を務めていただくなど、全農岩手県本部と連携を取りながら進めました。

また、手作りバター作り教室講師には県内乳業メーカーにご協力を頂き、牛とのふれあい体験では地元の酪農家・JAのご協力を頂き実施しました。

#### ○ 活動の成果・効果

酪農出前教室を通して、酪農家や乳業メーカーの仕事に関心を持ってもらえたと思います。

また、日頃学校給食で飲んでいる牛乳が健康な成長のために大事だということも理解してもらえたと思います。

#### ○ 今後の課題・展望

これからも地道な食育活動を継続し、酪農乳業の理解・関心の向上を図り、児童・生徒の健全な成長に役立てていきたいと考えています。

団体の紹介	県産牛乳・乳製品の消費、普及拡大をめざして 酪農家、乳業者、牛乳販売業者が一体となって昭和54年9月24日に設立した組織です。 酪農出前教室の他にも、牛乳・酪農を題材にした絵画コンクール、牛乳・乳製品利用料理コンクール、ミルクフェアなど様々なイベントを実施しています。
連絡先	〒020-0024 盛岡市菜園一丁目4番10号第二産業会館4F TEL：019-653-3795 FAX：019-653-5134 <a href="http://www.iwate-milk.com/">http://www.iwate-milk.com/</a>

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

JAいわて花巻管内の小学生を対象に田んぼや畑で実習しながら、食と農について学習して頂く。（詳細は次ページを参照）

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：JAいわて花巻管内の小学生

場 所：JAいわて花巻本店

内 容：年8回、毎回テーマを設け、植え付け体験から調査、料理体験を行う。

実施時期：5月～12月

実施回数：8日

## ○ 関係団体との連携

教育委員会

## ○ 活動の成果・効果

農業・農協への理解、産直利用など事業収益につながる。

## 団体の紹介

JAいわて花巻は、東は釜石から西は西和賀まで岩手県央部を東西に貫く地域を管内とし、「安全・安心」な農畜産物を消費者に届けるとともに、地域の文化を発信し、元気で活力ある地域農業の振興を進めています。また、総合農協の特性を生かし、組合員・地域の皆様がご利用いただける信用、共済、購買(生産・生活資材)販売、福祉など様々な事業に取り組むとともに、食農教育や高齢者の生活支援事業など豊かな地域づくりに向けた活動も行っています。

## 連絡先

JAいわて花巻 企画管理部企画開発課  
〒025-0052 花巻市野田316-1  
TEL：0198-23-3333

●小学生・高校生・JA新採用職員・父兄・大人

## ちぐりんスクール（保護者食育レッスン含む）

- 平成15年度から花巻市内の小学生約20名を対象に「ちぐりんスクール」を開催。生活担当スタッフのみで、年6回コースで進めていた。
- 平成18年度から教育委員会を通して小学生を募集。
- 平成19年度から企画、営農、生活担当が連携し、JA新採用職員・青年部・女性部・地域ボランティア・地元の高校生の協力を得ながらJA全体として食農教育事業に取り組む。また、花巻市教育委員会の指導を受け、小学生との接し方等についてもスタッフ研修を行っている。
- 平成20年度から新たに「保護者食育レッスン」をちぐりんスクールとともに開催。食育活動を子から親、親から家庭へ、そして地域へと広がりをもたせている。
- 平成21年度から広域合併効果を生かし、遠野管

内の釜石市にて地元女性部の協力を得ながら親子地引網体験を行った。平成22年は北上で本場の二子いも掘り体験、平成23年は西和賀でグリーン・ツーリズム受け入れ農家での1日農家の暮らし体験を行った。

- 平成22年度からボランティアグループ「ほのほの」の皆さんの協力を得て、本格的に託児所が稼働。安心して保護者食育レッスンを受講できると好評である。平成22年度から花巻地域、北上地域の小学1年生から6年生を対象に募集を行い50名の募集に対し、平成22年は79名、平成23年は62名の参加があり、毎回ボランティアやスタッフ合わせて約150名でスクールを盛りあげている。また、全ての日程終了後に「特別スクール」として23年度は希望者を募り、加工品づくり体験を開催。

JAいわて花巻 ちぐりんスクール

日本の農業の大切さを知ろう！

年間スケジュール(予定)

日	時間	内容	会場
5月 29日	9:30-12:30 (おやつ)	開校式 日本の農業の大切さを知ろう！	JA田んぼアート中心館
6月 11日	9:30-12:30 (おやつ)	いも作り体験(おやつ)	JA田んぼアート中心館
7月 30日	9:00-15:00 (昼食あり)	お米作り体験(おやつ)	JA田んぼアート中心館
8月 27日	9:30-12:30 (おやつ)	お米作り体験(おやつ)	JA田んぼアート中心館
10月 1日	9:30-14:00 (昼食あり)	お米作り体験(おやつ)	JA田んぼアート中心館
10月 23日	9:50-12:30 (おやつ)	JA職員交流会	JA田んぼアート中心館
11月 6日	9:30-14:00 (昼食あり)	お米作り体験(おやつ)	JA田んぼアート中心館
12月 5日	9:30-14:00 (昼食あり)	お米作り体験(おやつ)	JA田んぼアート中心館
1月 29日 日	10:00-12:00 (おやつ)	お米作り体験(おやつ)	JA田んぼアート中心館



ちぐりん田んぼで種刈り体験



ちぐりん田んぼで採れたてのえだまめを販売



いろいろな鍋で炊飯体験。水加減はこれでいいかな？



秋空の下、はんごうで炊飯体験



田んぼアートの移り変わり



毎月発行「ちぐりん通信」

心を込めてちぐりん畑に  
命を補えます



## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

子育て中の女性のためにJA施設を開放して、情報交換の場、「食」についての学習の場としている。（詳細は次ページを参照）

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：子育て中の方(祖父母もOK)

場 所：JAいわて花巻 洗心館

内 容：毎月第2金曜日 フリートークの日

毎月第4金曜日 料理講習やお楽しみ会の実施

実施時期：毎月2回

実施回数：20回

## ○ 関係団体との連携

託児専門グループとの連携

## ○ 活動の成果・効果

将来のJAファン、JA利用者につなげる。

## 団体の紹介

JAいわて花巻は、東は釜石から西は西和賀まで岩手県中部を東西に貫く地域を管内とし、「安全・安心」な農畜産物を消費者に届けるとともに、地域の文化を発信し、元気で活力ある地域農業の振興を進めています。また、総合農協の特性を生かし、組合員・地域の皆様がご利用いただける信用、共済、購買(生産・生活資材)販売、福祉など様々な事業に取り組むとともに、食農教育や高齢者の生活支援事業など豊かな地域づくりに向けた活動も行っています。

## 連絡先

JAいわて花巻 企画管理部企画開発課  
〒025-0052 花巻市野田316-1  
TEL：0198-23-3333

## ●乳児から就学前の幼児

# 子育て支援「わいわい子育てフリースペース」

●平成14年のJA全中が受注した農林水産省の補助事業である「女性農業者経営参画支援事業」のモデルJAとなったことをきっかけに、子育て中の農村女性の声を反映して15年からJAいわて花巻の福利厚生施設「洗心館」を利用し、自由に出かけられる場所として「わいわい子育てフリースペース」を開催。

花巻地区（毎月第2・4金曜日開催）

●子育て中の女性を支援し、支え合う地域づくりに向け、気軽に集まれる場、情報交換できる場、友達をつくれる場としてJAならではの後継者育成につなげている。

●わいわい子育てフリースペースは、ボランティアグループほのぼのさんの協力により開催。

●地産地消料理レシピ集等を利用し、JAいわて花巻生活活動リーダー並びに食育リーダー「花巻まんまず」等を講師に季節の料理やおやつ作りをおこなっている。

平成23年度 JAいわて花巻  
わいわい子育てフリースペース  
食育リーダーが「日本の四季を楽しもう」  
第4金曜日は日本に広がる四季の気候などを体験した行事等を子どもたちと一緒に楽しみます

月	当日の日	第4金曜日	イベント内容（第4金曜日）
4月	10日	24日	おひるに楽しむ！お昼ごはんの作りかた
7月	9日	23日	おひるに楽しむ！お昼ごはんの作りかた
8月	11日	25日	おひるに楽しむ！お昼ごはんの作りかた
9月	14日	28日	おひるに楽しむ！お昼ごはんの作りかた
10月	17日	31日	おひるに楽しむ！お昼ごはんの作りかた
11月	20日	3日	おひるに楽しむ！お昼ごはんの作りかた
12月	23日	6日	おひるに楽しむ！お昼ごはんの作りかた
1月	26日	9日	おひるに楽しむ！お昼ごはんの作りかた
2月	29日	12日	おひるに楽しむ！お昼ごはんの作りかた
3月	3日	17日	おひるに楽しむ！お昼ごはんの作りかた
4月	6日	20日	おひるに楽しむ！お昼ごはんの作りかた

お問い合わせ先 JAいわて花巻地区 生活広域部 課 4番-1213



ほのぼのさんと仲良く笑っている様子



グリーンボール作りに挑戦！



クリスマスパーティーの様子

JAいわて花巻  
わいわい子育てフリースペース  
12月の様子  
毎月第2・4金曜日に開催する「わいわい子育てフリースペース」は、子育て中の女性を支援し、支え合う地域づくりに向け、気軽に集まれる場、情報交換できる場、友達をつくれる場としてJAならではの後継者育成につなげている。

第2・4金曜日は、JAいわて花巻地区「ほのぼの」(野田社社務所内) (Aコープとつなげる)で開催中！

マメな育児や、子育ての悩みを話し合える場として、子育て中の女性を支援し、支え合う地域づくりに向け、気軽に集まれる場、情報交換できる場、友達をつくれる場としてJAならではの後継者育成につなげている。

【毎月内容盛りだくさん！】  
\*12日 福袋1個作り  
\*27日 春巻作り紹介(12月)

お問い合わせ先 JAいわて花巻地区 生活広域部 課 4番-1213

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

将来を担う子ども達が、健全な食生活を営むことで心身ともに健やかに育つことを目的に、教育・生産現場などで地域の人々が連携して「食育・食農教育」をすすめている。

田植え・稲刈りや野菜の収穫体験と収穫した野菜を利用した料理体験、餅つき等を行っている。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：JAいわて中央管内の小学1～3年生および保護者40組  
(組合員外を中心に募集している。)

場 所：JAいわて中央本所および管内農地

内 容：5月は田植え作業体験・味覚ツアーを行っている。

野菜の収穫は、平成23年度はレタス、平成24年度はアスパラガス、平成25年度はしいたけとアスパラガスの収穫体験を行った。

会費として一人あたり500円徴収している。

実施時期：5月、10月

実施回数：2回(平成25年度)

## ○ 関係団体との連携

JAいわて中央が主催し、JA青年部・女性部および(一社)家の光協会の協賛・協力を得て行っている。

また、盛岡市・紫波町・矢巾町教育委員会の後援を得ている。

## ○ 活動の成果・効果

アンケートから、農作業の楽しさ・大変さや収穫したての農作物の美味しさが寄せられており、食料・農業の大切さが伝わっていると思われる。

## ○ 今後の課題・展望

他団体との連携、地域内への子の活動の周知(P R方法)

## 団体の紹介

JAいわて中央は、盛岡市・矢巾町・紫波町を区域とし、「食農立国」をJAいわて中央のブランドとして地域農業の振興を図っています。また、総合事業(信用、共済、購買(生産・生活資材)販売、有線放送等)を通じて農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向け取組むとともに、地域の協同組合として農業や助けあい活動、文化活動を通じた社会貢献活動を行っています。

## 連絡先

JAいわて中央 企画管理部企画課  
〒028-3307 紫波町桜町字上野沢38-1  
TEL：019-676-3111



たきまほろの自然をいっしょに体験しよう

# 田植え体験・味覚ツアー



どこの田舎が  
なんとも思えないね。

トキハ  
どんどんかな？



2. 34ずつ  
植えるんだ。  
早く作業しないと！



お宇申しさまにね。  
うま〜うまいお宇さま？



種とりアスガサガサは、  
しんちんだ〜!!



## 実施スケジュール

- 実施期間 5月27日(日)
- 対象者 JAIにて中央管内の小学1~3年生
- 参加人数 8組
- 参加費 1人500円(昼食代)
- 場 所 JAIにて中央本所

8:35	はじめの会	松本駅前
9:00~9:35	お弁当写真	アソビの森公園前・田舎土橋
9:35~	稲作体験	稲穂・三輪町・島山・山田駅前
12:15~13:45	昼 食	
13:00	終わりの会	

「農作業体験ツアー」は毎年5月実施





あまのり とうもろこし とうもろこし とうもろこし とうもろこし とうもろこし とうもろこし

# 稲刈り作業体験・味覚ツアー

「稲刈り体験ツアー」実施に決意  
2014年10月6日(土) 13:30～15:30



嬉しい  
盛りだくさんに  
やっています!



たいせつな  
お米です。



つぎは  
お米です。



これが  
せんばこま  
です。



CHU  
足ふみたここくま  
TV.



喜んで  
食べごたえあり!



おいしい!



## 実施スケジュール

実施日時 10月6日(土)  
 対象者 JAいわて中央管内の小字1～3年生  
 参加費 22組  
 参加費 1人500円(昼食代)  
 申込先 JAいわて中央本所

8:35	はしめの集	記念撮影
9:30～9:45	準備作業	おとうり体験・おとうり栽培体験
9:50～	田植え体験	
12:30～13:45	昼食・帰りの準備	
15:35	解散の準備	

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

7月に食育標語・地産地消レシピコンクールの募集。9月頃に作品の各賞を委員会で決定し、10月の農業まつりで表彰式を行い、賞に入った作品は翌年の食育カレンダーに載ります。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：西和賀町内各保育所・保育園、小中高校の生徒

場 所：沢内の農業センター前

内 容：「農業まつり・福祉まつり」に参加し、食育標語や地産地消レシピは、全員分を会場内に掲示し、会館前広場では、学校給食で提供している地場産物を使った料理の試食会(1品)を実施しています。(※試食会のメニュー担当は湯田小学校、沢内小学校各2年交代で実施しています。)

実施時期：10月中旬

実施回数：1回

## ○ 活動の成果・効果

食育標語や地産地消レシピコンクール応募者への表彰式を中心に食育の啓発に影響し、関心は高まっていると思います。

## 団体の紹介

西和賀町教育委員会を事務局に、PTA連合会、町の農林課、生涯学習課、教育振興運動推進協議会、保育園、小中高校の方々に構成されている委員会です。

## 連絡先

西和賀町教育委員会学務課  
〒029-5692 西和賀町沢内字太田2-81-1  
TEL：0197-82-2111

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

地域でとれる地場産物を活用し、食育を進めるために、

- ①地場産物を給食へ取り入れる取組
- ②子どもたちへ感謝の心を育てる取組

を行っています。

取組は、地域の道の駅が主体となった「八幡平市食材供給組合」の方々と連携しながら進めています。

## ○ 具体的な取組の様子

## 1. 生産者と給食センター間の情報交換

年度初めに「食材供給組合」の総会に参加し、野菜の規格などセンターの要望を伝え、月ごとの生育状況等を定期的に情報交換している。

## 2. 地場産物の活用

年間を通して給食に地場産物を活用し、特に毎月「8」のつく日には、旬の地場産物や特産品をとり入れた「八幡平給食」を実施している。また、食材納入業者と連携し地場産物を用いた加工食品等の開発を行うことで、地場産物が品薄になる端境期にも利用できるよう努めている。

(実施品目：ピーマンの肉詰め、ほうれん草オムレツ、切り干し大根等)

## 3. 子どもたちへの取組

食材供給組合の組合員の畑を取材し、受配校の全小学3年生を対象とした食に関する指導の中でその内容を伝え、その際組合員もゲストティーチャーとして参画している。参画する日に、給食でもその生産者が作っている地場産物を使用し、給食を生きた教材として活用している。また、地場産物や生産者の思いは定期的に給食だよりに掲載し、家庭への情報提供を行っている。

<食材供給組合・総会>



<生産者(トマト)>



<3年生(小松菜)>



<切り干し大根(加工品)>



○ **活動の成果・効果**

- ・ 地場産物の利用率が上がった。
- ・ 子どもたちが感謝して食べる姿が見られるようになった。
- ・ 生産者は食育を担う一員としての意識が高まった。
- ・ 教職員の地場産物への関心も高まってきている。

○ **今後の課題・展望**

「感謝の心を持って食べてほしい」、「八幡平市の旬や本物の野菜のおいしさがわかる子どもになってほしい」という地域の思いを子どもたちへとどけるための取組を、今後も継続していきたいです。

団体の紹介	八幡平市立西根地区学校給食センター
連絡先	〒028-7111 八幡平市大更第36-462 TEL/FAX : 0195-76-3380

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

平成13年度より、盛岡市学校給食地場産品活用推進協議会と連携し、学校給食における地場産品の活用に取り組み始めました。

「南部小麦を3割ブレンドしたパン」「盛岡市産大豆使用の豆腐」「津志田のいものこ」など、関係機関等にもたくさんの協力を得ながら、そして少しずつ使用品目を充実させながら、学校給食における地場産品の活用を推進しているところです。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：学校給食を実施している盛岡市内小中学校の児童生徒

内 容：

## ◆「豆腐の日給食」の実施

毎月12日を「豆腐の日」として、年8回(5・6・7・9・10・11・12・2月)各校において、盛岡市産や岩手県産の大豆を使用した豆腐を利用した献立を、豆腐製造業者や給食物資取り扱い業者などの協力を得て実施しています。

## ◆「津志田いものこ給食」の実施

盛岡市津志田でとれた「いものこ」を使用した献立を、毎年10月中旬(平成25年度は11日)に、生産者・いわて中央農協・盛岡市学校給食地場産品活用推進協議会・岩手県学校給食会等の協力を得て実施しています。

## ◆「もりおか雪ん子シャーベット」の開発と使用

盛岡市はりんご栽培も盛んですが、そのりんごを秋冬だけでなく夏季も使用できるようにと、平成21年度、盛岡市乙部産のりんごを使用した「もりおか雪んこシャーベット」を、盛岡市農林部農政課・いわて中央農協・給食物資取り扱い業者などの協力を得て開発しました。現在、6月～9月を中心に使用されています。

## ◆その他

生産者・盛岡市学校給食地場産品活用推進協議会・JAシンセラ・JA新いわて・岩手県学校給食会・給食物資取り扱い業者等の協力を得て、地元の生鮮野菜や農産加工品、古代米などを継続的に使用しています。「盛岡だいこん給食」や「盛岡夏やさい給食」なども実施いたしました。

## ○ 関係団体との連携

取り組み内容にもあるように、たくさんの関係機関の協力を得て、地場産品の活用を推進しています。

○ **活動の成果・効果**

継続的に取り組むことにより、「豆腐の日給食」や「いものこ給食」の実施、「もりおか雪ん子シャーベット」などの使用が定着しました。「盛岡産でおいしい!」という子どもたちの声や、「盛岡市産ということで、いつもより子どもたちが意欲的に食べていました。」などの感想があり、食に関する指導の生きた教材として、地場産品を活用する意義があると実感しています。

○ **今後の課題・展望**

今後も関係機関と連携をとりながら、地場産品の活用を推進していきたいと考えています。



<b>団体の紹介</b>	盛岡市学校栄養士会
<b>連絡先</b>	〒020-0127 盛岡市前九年1-2-1 盛岡市立厨川小学校内 TEL：019-647-0110 FAX：019-647-0112

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

地域の小学生が食鳥加工工場を訪問し、本県の食鳥(チキン)は本県を代表する農産物であるとともに地域の重要な産業であることと、食と命の大切さを学んでもらうものです。さらに、10月29日を「岩手とり肉の日」とし、全県の小中学校等において鶏肉を利用した学校給食を実施しています。

## ○ 具体的な取組の様子

## 1 食育交流事業(岩手日報と共催)

開催日	学校名等	訪問工場等	新聞掲載日
H25年9月6日	久慈市立小久慈小学校 4年生49名	十文字チキンカンパニー 久慈工場	10月16日
H25年9月17日	住田町立世田米小学校 6年生26名	住田フーズ食鳥加工工場	10月23日

## 内 容：

- ・生産者による生産農場でひよこから成鳥になるまでの仕事を紹介
- ・工場長等による製品になるまでにたくさんの人が働いているところの行程の説明と見学
- ・と体からムネ肉、もも肉、手羽などのカット実演
- ・ひよこことのふれあい
- ・生産者、工場の関係者とのふれあい給食交流
- ・後日、当日の工場訪問の様子を岩手日報のほぼ1面に掲載

<小久慈小学校の工場見学の様子：十文字チキンカンパニー久慈工場>



<世田米小学校の工場見学の様子：住田フーズ 食鳥加工工場>



## 2 10月29日「岩手とり肉の日」学校給食事業実施状況

開催日	項目	小学校	中学校	支援校他	計
30市町村	実施校 (校)	332	137	27	496
	児童生徒(名)	59,263	25,460	1,201	85,924
	教職員等(名)	6,201	2,693	932	9,826

- ・「岩手のチキン」リーフレットを作成配布し、生産から食卓まで、岩手の産地などを紹介
  - ・給食センター等ごとに唐揚げ、照り焼き、チキンカレーなど多彩なメニュー
- 3 実施時期、回数：平成20年度から実施(平成23年度は震災により中止)

### ○ 活動の成果・効果

- ・ 本県がチキンの大産地であり、地域の主要な産業であることの浸透
- ・ 学校給食で本県産のチキンの利用の定着

### ○ 今後の課題・展望

- ・ 事業の継続と岩手産チキンの認知度が高まること

団体の紹介	岩手県チキン協同組合
連絡先	〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通6-47 (K Yビル1階) TEL : 019-624-2870 e-mail : i-chicken@heart.ocn.ne.jp



## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

ときめき世界遺産塾の第4回講座「気分はタイムスリップin一関」の活動として、世界遺産・中尊寺と関わりの深い「骨寺村荘園遺跡」の現地学習の際に、当地方の特色ある郷土料理である「もち」と「はっと(八斗)」を作って食べる時間を設定した。

## ○ 具体的な取組の様子

- 対 象： 一関市・奥州市・平泉町の小学5年生～高校3年生  
場 所： 一関市・骨寺村荘園休憩所「古曲田家(こまがたや)」  
内 容： 餅つき体験、はっと作り体験、試食  
実施時期： 平成25年10月26日(土)  
実施回数： 年1回



## ○ 関係団体との連携

骨寺村荘園交流館「若神子亭(わかみこてい)」の協力を得て、地元の方々から餅つきやはっと作りの指導をいただいた。

## ○ 活動の成果・効果

- ・ 特色ある郷土料理の体験・試食を通して、郷土の料理を理解し、普及・伝承していくきっかけづくりとなった。(参加塾生のアンケートから)
- ・ 各家庭に帰ってから、家族で餅やはっとを作ってみるなど、食を通して親子のふれあいが期待できる。

○ 今後の課題・展望

地域の歴史や文化を学習する中で、「食文化」も重要な学習と位置づけるなど、今後も継続して「食文化」に触れる機会の提供が求められる。

団体の紹介	奥州市、一関市、平泉町で組織している実行委員会で、県南教育事務所管内の小・中・高校生を対象に、「平泉の文化遺産」や世界遺産についての学習を通じ、郷土の歴史・文化を深く理解し、郷土の宝を守り育てる気運を醸成することを目的に、「ときめき世界遺産塾」を開講している
連絡先	事務局：平泉町教育委員会世界遺産推進室 〒029-4192 平泉町平泉字志羅山45-2 TEL：0191-46-2218

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

教育振興運動の実践区の活動として、家族と一緒にちゃんこ鍋を作って食べる「家族の日」を設定し、食育としての健康な体作りを目指すと共に、家族のふれあいとコミュニケーションの場を広げるきっかけ作りをしている。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：浄法寺小学校実践区の保護者並びに児童

場 所：浄法寺地区内の各家庭

内 容：家族一緒にちゃんこ鍋等を作って食べる。

実施時期：平成25年度の6月～2月の各月の最終日曜日を原則として夕食時

実施回数：9回



## ○ 関係団体との連携

浄法寺小学校、浄法寺小学校PTA、浄法寺総合支所(二戸市教育委員会)

浄法寺地区教育連絡会

## ○ 活動の成果・効果

- ・スタート時点の6月には実施率が67%と、高い数字を示した。
- ・相撲が盛んな当地区の伝統を含みながらも、家族とのふれあいや親子のコミュニケーションのきっかけ作り等、食育だけではなく家庭教育全体にわたった視点での効果的な活動を展開することができた。

【アンケートより】

- ・ 今回の料理に使う野菜を畑から採ってきて、一緒に野菜を切ったりちぎったり、野菜の豆知識の話も出てきて、楽しみながら準備が出来ました(1年女子の親)
- ・ 今回は、ちゃんこではなくひつつみをつくってみました。おばあちゃんから練り方やちぎる大きさなど、作り方を見たり聞いたりして作りました。(5年男子)
- ・ とってもうまく出来ましたが、お父さんが参加したがないので、お父さんが好きなタコを使った料理で何とか参加させました。私も楽しく料理ができました。(5年女子)

○ 今後の課題・展望

活動がマンネリ化しないように、毎年視点を変えて取り組みを行っている。来年度はこういった内容を柱に取り組みをするか現在検討中である。

団体の紹介	学校、PTA、地域、行政が連携して浄法寺小学校190名の子どもたちを育てていく組織
連絡先	二戸市立浄法寺小学校 〒028-6957 二戸市浄法寺町海上田3番地7 TEL：0195-38-2026

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

食の多様化が進み、ファーストフードやインスタント食品など、子ども達を取り巻く「食」の環境が懸念される中、「食」の安全・安心が求められています。

そのような中、地元の食材を使用し(地産地消)、古くから伝わる伝統食「へっちょこだんご」を、地元のお母さんと子ども達がふれ合いながら、一緒に作ることで、「食」に対する興味と「生きる力」を育み、手間と愛情をかけて作る(スローフード)「本物のおいしさ」を知ってもらうことをねらいとし、年2回実施している。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：放課後子ども教室「わいわい遊びの学校」参加者(葛巻小学校児童)

対象学年 1～6年 約30名参加

場 所：葛巻小学校家庭科室

内 容：町の婦人団体の協力をうけながら、郷土食「へっちょこだんご」の小豆を煮、きび粉をこねて・まるめて団子にし、作るところから、食器を出し盛りつけ、後片付けまで子ども達が行います。

実施時期：秋～春(開催時期変動)

実施回数：年2回



## ○ 関係団体との連携

葛巻町更生保護女性部

## ○ 活動の成果・効果

地元の色々な年齢層のお母さんたちとふれ合いながら、郷土食を作ることで、世代間交流が図られるほか、「食」に対する興味がわき、家庭でも手伝いをしたり、後

片付けをする「しまつ」のしつけにも繋がっている。また、町の郷土食の良さを知り、手間と愛情をかけて作る、「本物のおいしさ」の発見や「食」を通じて、「生きる力」を学ぶ機会となっている。

○ 今後の課題・展望

現在、葛巻小学校教室だけで実施しているが、今後はこの取り組みを、他の教室でも実施していきたい。

団体の紹介	○放課後子ども教室「わいわい遊びの学校」 放課後の子ども達の居場所づくりや、様々な体験を通じて、友達とのかかわり合い方や心の情操教育の場所として、学校の空き教室を活用し、町内の小学校3校で開校(週2～3日)している。 開校時間は、各教室で異なるが、15:00～17:00までとしている。
連絡先	葛巻町教育委員会事務局生涯学習推進室 〒028-5495 葛巻町葛巻16-1-1 TEL：0195-66-2111

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

平成22年度からの取組で今年度4年目。八重畑小学校の総合的な学習の時間「りんご学習」と連携しながら、八重畑振興センターが中心となって企画・実施している事業。りんご作りに関係する地域人材や婦人会も参画し、八重畑地区の特産品である「りんご」を通して、地域の大人が持つ知識や経験等を地域内の子どもへ伝えるとともに、地域の教育力強化を図っている。主な内容は、事業企画会議、りんごの収穫体験、りんごを食材とした調理等である。子どもを学習の主体者としながらも、参加者各々にとって、食育や地域理解等、体験を通して学ぶことができる事業である。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：八重畑小学校児童3年生

場 所：八重畑振興センター、りんご農家の農園、八重畑小学校

内 容：企画会議、現地学習、収穫体験、調理、試食、反省会

実施時期：【平成25年度】

9月 事業企画会議

※企画段階から、児童および関係機関・組織が参画

11月 りんごの体験学習①(現地学習会、収穫体験、品種当てクイズ)

12月 りんごの体験学習②(クレープ作り、試食、りんご釣りゲーム  
活動の振り返り)

実施回数：3回（9月、11月、12月の各1回）

※りんごに関する本の読み聞かせは随時



## ○ 関係団体との連携

八重畑コミュニティ協議会、八重畑小学校、八重畑小学校3年生保護者、りんご農家、婦人会、読み聞かせボランティア「アインブーフ」、県立生涯学習推進センター職員、中部教育事務所

○ **活動の成果・効果**

- ・りんごの生産過程や生産者の努力・工夫の一端を知ることができ、「食に対する感謝の心」を育むことができた。
- ・調理体験を通して、参加者全員が地元の食材を味わう喜びとその良さ知ることについて共感できた。
- ・調理場面等で地域の方から褒められたり認められたりしたことが、子どもたちの自信となり、今後の食育に関する活動への意欲向上に繋がることが期待できる。

○ **今後の課題・展望**

地域ぐるみの食育が従来よりも増して充実するよう、年度の早い時期から地域内の連携を図りながら継続的に行われる事業の企画・展開。

<b>団体の紹介</b>	八重畑振興センターは、花巻市内に27地区に設置されている振興センターの一つ。振興センターは地域住民が主体となって組織する地域コミュニティ会議が管理運営し、市職員が地域づくり支援、生涯学習事業等を行う。
<b>連絡先</b>	〒028-3131 花巻市石鳥谷町猪鼻7-30-1 TEL：0198-47-2113



## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

給食に使用する食材は積極的に地元食材を使用し、また、地域で作られる農産物の生産・製造現場の見学や、調理体験等を通じて、生産から加工・消費までの過程を体験させる取組を実施するなど、子ども達やその保護者が、地域の農業や食材に関心を持ち、食文化や農林水産物に対する正しい知識が自然と身に付くような取組を行っている。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：保育園児と保護者

場 所：花巻市矢沢地区

内 容：

- (1)園児による給食の手伝い、保育園で採れた野菜や地元野菜を使用したクッキング体験(例：かんぴょうづくり、カレー作りなど)を実施し、地元の野菜や旬の食材に触れる機会を作っている。
- (2)給食の見本・産地について毎日表示するほか、給食参観等を実施し、保護者に対し、食の関心を深めてもらう体制を整えている。
- (3)花巻の米粉パン業者が保育園に来園し園児と会食を実施し、交流を深めることにより、感謝して食べる心、食べる意欲が育っている。また、生産農家の見学として、菌床しいたけハウスを見学し、収穫体験を実施、子ども達の前で調理し給食で提供するなど、生産者との交流を深めている。
- (4)保育園の行事や季節の行事食などをメニューに取り入れるなど、地元食文化や伝統食の理解増進に積極的に取り組んでいる。

《例》 ①夕涼み会で在園児、卒園児、父兄、来賓等に郷土食を提供  
(H24:花巻銀糖、H25 :きりせんしょ)

②5月5日の節句にちなんだ「手作りかしわもち」をメニューに加え、かしわもちのいわれを子供達に伝えるなど季節や行事に合わせた献立を提供。

実施時期：年中を通じて実施

## ○ 活動の成果・効果

子供たちが、地元の農産物を食べることを楽しみにして、食に対する感謝の心が育っている。また、給食参観や食育便り、給食の展示ボード(給食メニューや産地、食材の特徴などを明記)等を通じて、保護者の理解も進んでいる。

## 団体の紹介

第6回地産地消給食等メニューコンテスト 農林水産大臣賞受賞  
いわて地産地消給食実施事業所

## 連絡先

〒025-0011 花巻市矢沢9-14-1  
TEL：0198-31-2021

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

本県は、全国でも有数の畜産県であり、鶏、豚、牛いずれの生産でも本県の重要な産業となっています。食の安全安心は、農場から食卓( Farm to Table)の各段階で適切な衛生管理を実施することによって確保することが可能となります。

当所では豚肉、牛肉、鶏肉は、法律に基づき獣医師が検査をしていることを消費者に理解してもらうこと、生産者や事業者が「安全で安心な食肉」を生産するための様々な努力をしていることを理解してもらうことを目的に、一般社団法人岩手県獣医師会食鳥検査センターとの共催により、食肉フォーラムを開催しました。

開催にあたってはこのような取組を「見て・聞いて・食べて」もらい、一層の理解と関心を深めてもらう内容としました。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：県民

場 所：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

内 容：

講演

「食鳥生産者の取組みと食育活動」株式会社オヤマ 常務取締役 小山 雅也

「安全でおいしい豚肉を」農事組合法人八幡平ファーム 常務理事 大泉 俊昭

「いわて牛輸出拡大を目指して」(株)岩手畜産流通センター 常務取締役 菊池 清

「お肉をおいしくいただくために」メトロポリタン盛岡 料理長 狩野 美紀雄

※コメンテーター

菅原 悦子氏 (岩手県食育推進ネットワーク会議会長、岩手大学副学長、  
岩手県食の安全安心委員会委員長)

佐々木 一弥氏 (一般社団法人岩手県獣医師会 産業動物臨床開業部会長)

実施時期：平成25年9月7日(土)

実施回数：1回

## ○ 関係団体との連携

岩手県食育推進ネットワーク会議、岩手県食肉生活衛生同業組合、岩手県チキン協同組合と連携しながら進めてきました。

また、食育推進ネットワーク会議会長の菅原悦子先生には、フォーラムのコメンテーター、(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センターには当日のスタッフなどの動員も含め、全面的な支援をいただきました。

## ○ 活動の成果・効果

マスコミ等を活用して事前の周知に努めた結果、多くの県民に参加していただきました。アンケートでは、参加者の91%が役に立った、94%が岩手の食肉の安全性と品質の良さへの理解が深まったとの回答結果でした。

また、併せて安全安心にこだわった食育、生きるために命をいただく食育、地産地消など幅広い、そして生涯にわたる食育の重要性の普及啓発を行うことができました。

## ○ 今後の課題・展望

アンケート結果には、継続して開催してもらいたい、Farm to Tableの取組みがわかるようなフォーラム開催への期待などの意見が多くあったこと、また、当所としても食品の安全性に関する情報を県民に提供し、安全な食品を自らの判断で正しく選択する力を養うことが必要であると考えることから、今後も継続して開催していきたいと考えます。その際には今回と同様に多くの機関・団体との連携が不可欠であると考えています。

### < 講演 >



### < 総合討論 >



### < パネル展示 >



### < 試食 >



### 団体の紹介 ・連絡先

#### 【岩手県食肉衛生検査所】

〒028-3311 紫波町犬淵字南谷地57-20

TEL : 019-672-4760 FAX : 019-672-4717

#### 【一般社団法人岩手県獣医師会食鳥検査センター】

〒020-0021 盛岡市中央通三丁目7-24

TEL : 019-651-9922 FAX : 019-653-7033

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進のため、県民の皆様へ食品の安全性に関する情報の提供や、消費者、生産者、事業者等の意見表明の場の設定等により、食品の安全性に関する正確な情報の共有と相互の意思疎通を図っています。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：消費者、生産者、事業者、行政ほか

場 所：県内各地

内 容：講演、行政からの報告、パネルディスカッション、質疑・意見交換等  
※ テーマ：食品と放射能、食中毒、食品表示、BSE、アレルギー食品等

実施時期：通年

実施回数：年4回程度(平成25年度は6回)

## 【平成25年度の開催状況】

期日	開催地	テーマ	参加者
6/10	盛岡市	BSE対策	約50
6/16	奥州市	食品の放射性物質汚染	約70
9/1	一関市	食品の放射性物質汚染	約130
11/27	釜石市	食品の放射性物質汚染	約80
12/11	盛岡市	ノロウイルス食中毒	約30
2/17	盛岡市	食品表示	約170



(写真) 9/1一関市  
パネルディスカッションの様子

## ○ 関係団体との連携

## ◎ 共催事業

- ・ 釜石地域放射性物質に係る食品の安全安心推進連絡会議共催(11/27)
- ・ 内閣府食品安全委員会共催(12/18)

## ◎ 県内関係団体による後援

JA岩手ふるさと／JA江刺／JA岩手南／奥州市／金ヶ崎町／一関市／平泉町／  
(公社)岩手県栄養士会／岩手県学校栄養士協議会／岩手県消費者団体連絡協議会／  
(一社)岩手県食品衛生協会／岩手県生活協同組合連合会／(社)岩手県調理師会／  
(一社)岩手県PTA連合会／(一社)岩手県私立幼稚園連合会(以上、25年度実績)

## ○ 活動の成果・効果

参加者アンケートでは各回とも8割以上の方から、テーマに関する理解が深まった、内容に満足した等の回答を頂いており、正しい知識の普及と理解増進が図られている。

## ○ 今後の課題・展望

消費者、生産者、事業者等、県民の皆様が理解や情報共有を深めたいテーマについて、出来るだけ多くの参加を得ながら開催出来るよう工夫する。

## 団体の紹介

岩手県環境生活部県民くらしの安全課

## 連絡先

〒020-8570 盛岡市内丸10-1  
TEL：019-629-5322 FAX：019-629-5279  
e-mail：AC0009@pref.iwate.jp

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

奥州市内の食に関する出前講座等の開催及び支援を行なっている個人や団体の登録事業。

登録団体等をまとめ、市内の幼稚園、保育所、学校に配布し食育活動に広く活用を図る。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：市内の幼稚園、保育所(園)、小学校、中学校、高校

場 所：活動はそれぞれの施設からの希望に合わせ、学校、地区センター等での実施

内 容：別紙のとおり

掲載期間：平成25年4月1日から平成26年3月31日

活動期間：平成25年5月1日から平成26年3月31日

## ○ 活動の成果・効果

平成25年度からの新規事業。

年度末には登録の団体・個人の活動状況について報告をいただく。

現段階では成果等のまとめは未実施であるが、食育活動を行う上で、講師や内容の検討がしやすくなり、活用していただいているようである。

年度末に登録内容について更新し、次年度も継続して実施する予定。

## ○ 今後の課題・展望

各施設において、さらにこの登録制度の登録者を更新し活用していただけるように、食育活動を広めていきたいと考えている。

## 団体の紹介

奥州市健康福祉部健康増進課健康づくり係

## 連絡先

〒023-0053

奥州市水沢区大手町3丁目2番地(水沢保健センター内)

TEL：0197-23-4511 FAX：0197-23-4512

H25年度版

# 奥州市食育活動支援団体・個人一覧

毎月21日は  
家族そろって  
朝食テイ



奥州市食育キャラクター  
「わんぱっくん」

団体・個人の名称（所在地）	内 容	対応可能日時	備 考
奥州市食生活改善推進員協議会 (水沢保健センター及び各区総合支所 健康福祉課内食生活改善推進員事務局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものおやつ作り調理支援</li> <li>郷土食調理支援</li> <li>バランス食調理支援</li> <li>食育カルタでの食育支援</li> <li>バランスガイド普及 など</li> </ul>	平日の午前9時～午後5時 (土日、祝祭日は要相談)	講師料：無料 各区の会員が対応します 材料代：主催者側負担
(社)岩手県栄養士会 奥中央支部 奥中央支部長 佐々木誠子 (奥州市水沢区羽田町字水無沢495-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養講話と調理実習</li> <li>肥満予防</li> <li>メタボ予防</li> <li>糖尿病予防</li> <li>減塩指導等の支援</li> </ul>	曜日は要相談。 時間は10時～14時でそれ以外の場合も要相談	講師料：要相談
東北農政局奥州地域センター センター長 稲次研士 (奥州市水沢区佐倉河字慶徳71(EO慶徳ビル))	「食事バランスガイドと日本の食糧自給率」についての講話(30分から1時間)	平日の午前9時半～午後5時	講師料：無料
胆江地方食の匠研究会 アテリイの里伝統食リーダー (奥州市江刺区大通り7-13)	<ul style="list-style-type: none"> <li>胆江地方のふるさとの味の保存、伝承</li> <li>これまで培われてきた智慧や技能の保存、伝承</li> <li>胆江地方ならではの食文化の発信</li> </ul>	平日 (土日、祝祭日は要相談)	講師料：1時間4,100円 (※岩手県の規定による。単価については相談に応じます) 材料代：主催者側負担
岩手ふるさと農業協同組合 「ふるさと母ちゃんズ」 (奥州市胆沢区小山字菅谷地131番地1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本型食生活の普及、郷土料理の伝承</li> <li>次世代を担う子供達の体験学習支援</li> <li>伝統文化の継承</li> <li>その他の食農教育活動に関する事項</li> </ul>	要相談	講師料：無料 材料代：主催者側負担
ジュニア食育マスター 朝日田 有可 (日本野菜ソムリエ協会認定) (奥州市水沢区佐倉河字桜ノ目48-1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜ソムリエとして、野菜・果物の魅力(栄養素や食べて体に良い効果・おいしい食べ方や見分け方等)を伝える支援</li> <li>あらゆる世代へ、食育指導の支援</li> <li>幼児・児童・生徒の調理実習の支援</li> <li>大人の調理実習の支援・料理教室対応</li> </ul>	基本的にいつでも対応可能 (相談に応じます)	講師料：相談に応じます 金額に応じた支援内容の検討も可能 材料代：主催者側負担
野菜ソムリエコミュニティいわて 会長 千田広子 奥南支部リーダー 高橋千鶴子 (奥州市胆沢区若柳字甘草171番地)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各世代に応じた野菜、果物の話(栄養、歴史、栽培など)。調理実習</li> <li>事業所などでの食育講座</li> <li>食事バランスガイドによる食事指導、バランス弁当作り</li> </ul>	いつでも対応可能	講師料：主催者側の基準に従います 材料代：主催者側負担
農事組合法人 いさわ産直センターあじさい 代表理事組合長 高橋寿子 (奥州市胆沢区小山字小田切214)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業体験</li> <li>じゃが芋、さつま芋の植え付けから収穫までの指導</li> <li>ブルーベリーのもぎ取り体験(7月中)</li> </ul>	随時対応	講師料：無料 ブルーベリーのもぎ取り体験(1人200円。但し幼児、小学生に限る)
吉田智子(個人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>食に関する講座と親子のおやつ作り</li> <li>子どもの発達と食事</li> <li>頭をよくする食事ってあり?</li> <li>花巻東高校の食事と子どもの発達</li> <li>伝承おやつ作り</li> </ul>	いつでも対応可能	講師料：無料 材料代：主催者側負担

奥州市管理栄養士が  
相談に対応します。

- \* 離乳食の相談
- \* 幼児食の相談
- \* 子どもの肥満の相談



《問い合わせ先》

- ・水沢保健センター  
23-4511/☎23-4512
- ・江刺総合支所健康福祉課  
35-2111/☎35-5120
- ・前沢総合支所健康福祉課  
56-2111/☎56-2171
- ・胆沢総合支所健康福祉課  
(健康増進プラザ悠悠館内)  
46-2977/☎46-3105
- ・衣川総合支所健康福祉課  
52-3800/☎52-3949



「食」は私たちの元気のみなもとです。  
食べ物がおいしい奥州市には「食」を体験するためのたくさんのメニューがあります。  
「食」にまつわる経験を通して子どもたちの成長を感じてみてはいかがでしょうか。  
保育所、幼稚園、学校、子ども会、グループなどで体験したいけど…とお考えの方、どうぞご利用ください。

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

保育園・幼稚園に出向き料理講習を実施（詳細は次ページを参照）

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：保育園・幼稚園の園児

場 所：保育園・幼稚園

内 容：料理実習

実施時期：通年

実施回数：年10～13回

## ○ 関係団体との連携

花巻市食育ネットワーク

## ○ 活動の成果・効果

保護者への食に関する理解

## 団体の紹介

JAいわて花巻は、東は釜石から西は西和賀まで岩手県中部を東西に貫く地域を管内とし、「安全・安心」な農畜産物を消費者に届けるとともに、地域の文化を発信し、元気で活力ある地域農業の振興を進めています。また、総合農協の特性を生かし、組合員・地域の皆様にご利用いただける信用、共済、購買(生産・生活資材)販売、福祉など様々な事業に取り組むとともに、食農教育や高齢者の生活支援事業など豊かな地域づくりに向けた活動も行っています。

## 連絡先

JAいわて花巻 企画管理部企画開発課  
〒025-0052 花巻市野田316-1  
TEL：0198-23-3333

● 保育園・幼稚園児・大人

JAいわて花巻食育リーダー「花巻まんま〜ず」

●平成20年8月から、JAいわて花巻生活活動リーダーから食育部門に特化したリーダーを「花巻まんま〜ず」と命名し、保育園・幼稚園での食育事業に出向き活動を行っている。メンバーは現在16名。「いのち・農業・食」の大切さを重点におき、保育園・幼稚園にとどまらず、ちゃぐりんスクールやフリースペースさらには集落

での講演活動等幅広く活動を展開している。

- 大人への食育講話活動も県内各地で好評である。
- 自らを高める食育の学習活動を進めるほか、花巻市内の栄養士、調理師の方々と合同の研修会を開催している。さらに、花巻市の食育ネットワークによる各関係機関との連携を取り進めている。



この日のメニューは白玉だんご汁



研修会（花巻まんま〜ずリーダー）



園児がおにぎりを食べる様子



花巻まんま〜ずの皆さん



包丁の使い方も教えます



保育園職員対象の料理講習会



## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

乳幼児期についての食育の重要性を伝えるとともに、広く県民に食育への理解と実践の普及を図ることを目的として実施しているものです。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：保育園児

場 所：滝沢村(元村保育園)

二戸市(浄法寺保育園)

住田町(世田米保育園、有住保育園)

岩手町(沼宮内保育所)

洋野町(大野保育所)

内 容：栄養士会による絵本の読み聞かせ

歯科医師会による歯磨き指導

実施時期：6月の食育月間にあわせて実施

実施回数：県内6か所の保育園等で実施

<出発式>

<保育所訪問>



## ○ 活動の成果・効果

絵本の読み聞かせでは、本物の野菜を使ったり歌を交えて読み聞かせを行い、また歯磨き指導では、歯の模型を使って汚れの落ち方をみせたり、ゲームのキャラクターの衣装を着たりと、園児の興味を引くような工夫を行い、好き嫌いをなく食べることの大切さを伝えるとともに、その後の歯磨き指導により、食べた後には歯磨きを行うという動機づけに繋がっている。

## ○ 今後の課題・展望

食育は、乳幼児期からの取組みが重要と考えられることから、引き続き普及啓発キャラバンを実施し、食育の重要性を伝えていく予定。

## 団体の紹介

岩手県食育推進ネットワーク会議  
食育に関係する機関・団体等の連携を促進し、食育を推進するため設立。  
現時点の構成団体は46団体

## 連絡先

事務局：岩手県環境生活部県民くらしの安全課  
〒020-8570 盛岡市内丸10-1  
TEL：019-629-5322 FAX：019-629-5279  
e-mail：AC0009@pref.iwate.jp

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

全県的に食育運動を展開するため、県民や食育関係者が一堂に会して食育の重要性について考える機会として、開催しているものです。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：県民

場 所：岩手県公会堂

内 容：表彰式(岩手県食育推進貢献者表彰、岩手県食育標語コンクール)  
食育実践活動事例発表

・ 社団法人岩手県調理師会北上支部

・ 紫波町日詰公民館

食育講演会

・ 基調講演「岩手の食文化と郷土料理を生かした食育」

・ 食の匠の講演「地域の伝統食について」

実施時期：平成25年11月9日(土)

実施回数：1回開催

来場者：約250名

<オープニングセレモニー>



<表彰式>



<基調講演>



## ○ 活動の成果・効果

来場者アンケート結果から、講演や食育活動の事例発表について参考となったとの回答が多く、食育の重要性を再認識する機会となっている。

## ○ 今後の課題・展望

若い世代の来場者が少ない傾向であることから、大会のPRや大会の内容について更に工夫が必要と考えている。

## 団体の紹介

岩手県食育推進ネットワーク会議  
食育に関係する機関・団体等の連携を促進し、食育を推進するため設立。  
現時点の構成団体は46団体

## 連絡先

事務局：岩手県環境生活部県民くらしの安全課  
〒020-8570 盛岡市内丸10-1  
TEL：019-629-5322 FAX：019-629-5279  
e-mail：AC0009@pref.iwate.jp

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

食育推進をより一層県民運動として展開するため、地域社会への貢献度が高く他のモデルとなる実践的な活動に取り組む個人又は団体について表彰しているものです。

## ○ 具体的な取組の様子

対象：食育に取り組んでいる個人又は団体(市町村や岩手県食育推進ネットワーク会議構成団体から推薦を受け、選考委員会の選考を経て受賞者を決定)



平成25年度受賞者：

- ◆ 社会福祉法人遠野市保育協会 遠野保育園

## 【活動内容】

平成6年から、3歳児未満児への活動として、園児一人一人の発達に応じた離乳食を提供するとともに、家庭での離乳食の状況や親の意識についてアンケートに基づきアドバイスを行う等、園児に寄り添った食育指導を行っている。また、3歳児以上への活動として、毎月、栄養やマナー等テーマを変えて食育指導を行うとともに、野菜の栽培や給食調理のお手伝い体験等食への関心を高める活動を行っている。

- ◆ 盛岡市学校栄養士会

## 【活動内容】

平成18年から、先人ゆかりの給食の実施等盛岡市の特色を生かした食育を推進するとともに、給食の単独調理校が多いことから、豊富な事例を基に栄養士会員が「食に関する指導」等班体制をとり継続的に研究を進めている。また、市の特産品の地産地消を進めるため、学校給食地場産品活用協議会においてJA等と連携して学校給食への地場産食材使用に係る課題を解決し、学校給食における地場産食材使用を進めている。

## ○ 活動の成果・効果

他の模範となる事例の表彰を行うことにより、食育活動のアピールや継続的な食育活動に繋がっている。

また、食育推進県民大会において、表彰式を実施し、活動事例発表を行うことにより、活動を広く周知できている。

## ○ 今後の課題・展望

食育を県民運動として推進するため今後も継続していきたいと考えている。

## 団体の紹介

岩手県環境生活部県民くらしの安全課

## 連絡先

〒020-8570 盛岡市内丸10-1  
TEL：019-629-5322 FAX：019-629-5279  
e-mail：AC0009@pref.iwate.jp

## 【取組内容】

## ○ 活動の概要

食育を県民運動として進めるために、県民の理解と関心を深めていくため、食育に関する標語を広く募集し、優秀な作品に対して表彰しているものです。

## ○ 具体的な取組の様子

対 象：県民

内 容：平成25年度テーマ「岩手を食べよう」

募集期間：平成25年6月～11月19日(木)

応募数：834作品

受賞作品：最優秀賞1作品、優秀賞12作品、入賞24作品

最優秀賞 「岩手県 おいしい食の 宝箱」

大船渡市立立根小学校 4年生 佐々木康大さんの作品

## ○ 活動の成果・効果

応募者の多くが、小中高生であることから、食の大切さについて考えるきっかけとなっている。

また、食育推進県民大会において、表彰式を実施することにより、食育について理解を深める機会となっている。

## ○ 今後の課題・展望

食育を県民運動として推進するため今後も継続していきたいと考えている。

## 【これまでの最優秀賞作品】

食育標語コンクール最優秀作品	
岩手県 おいしい食の 宝箱	(平成25年度)
食べること 未来の体 つくること	(平成24年度)
ごはんはね 家族の笑顔 作るんだ	(平成23年度)
おべんとう ひとつひとつが たからもの	(平成22年度)
ありがたう 食べてはぐくむ 岩手の心	(平成21年度)
いただきます かぞくでニコニコ おいしいね	(平成20年度)
みんなでごはん 心もおなかも ほっかほか	(平成19年度)
朝ごはん もりもり食べる 岩手っ子!	(平成18年度)



## 団体の紹介

岩手県食育推進ネットワーク会議  
食育に関係する機関・団体等の連携を促進し、食育を推進するため設立。  
現時点の構成団体は46団体

## 連絡先

事務局：岩手県環境生活部県民くらしの安全課  
〒020-8570 盛岡市内丸10-1  
TEL：019-629-5322 FAX：019-629-5279  
e-mail：AC0009@pref.iwate.jp

## 岩手県食育取組事例集

〈 発 行 〉

岩手県 環境生活部 県民くらしの安全課

TEL 019-629-5322 FAX 019-629-5279

URL <http://www.pref.iwate.jp>

平成26年3月

# 家庭、保育所・幼稚園、学校、地域で食育に取り組もう

## ●家庭では

- 家族団らんで楽しく食卓を囲む
- 規則正しい食習慣の育成
- 食育の取組への参加



## ●保育所、幼稚園では

- 食への興味と意欲や食習慣を育成するための取組の実施
- 家庭に対する相談や助言の実施



## ●学校では

- 学校教育活動全体を通じた食に関する指導の実施
- 家庭に対する啓発活動、食育に関する様々な情報の提供

## ●地域では

- 食に関する行事の実施
- 食生活に関する情報の提供

## ●生産者、事業者では

- 食の安全安心の確保に関する情報の分かりやすく適切な提供
- 農林水産業の多様な体験機会の提供



## ●市町村では

- 市町村食育推進計画の策定
- 学校や保育所、地域などと連携し、計画的に食育施策の展開



発行

岩手県 環境生活部 県民くらしの安全課  
TEL 019-629-5322 FAX 019-629-5279  
URL <http://www.pref.iwate.jp>